

関西支部だより

第 35 号

# 時習館 かんさい

〒541-0059 大阪市中央区博労町 1-7-16  
山本通産株式会社内  
時習館同窓会関西支部発行  
TEL (06)6252-2131  
FAX (06)6262-3530  
E-mail ishikawa@ytc-j.co.jp  
振替口座番号 00960-3-32608

## コロナ禍での生活

～うち克つ気力、工夫を～



神戸中突堤中央ターミナルとメリケンパーク 松井誠一郎氏(時 27)提供

## 2021 年度の関西支部総会

時習館同窓会関西支部第54回の総会・懇親会は前34号にて下記のとおりご案内していましたが、いまだ新型コロナウイルスの収束めどが立たず、依然厳しい状況が続いています。ワクチン接種の進行状況等を含め、何とか開催できることを願ってはいますが、現状では結論を出すことが出来ません。予定通り開催することを念頭に、今少し様子を見た上で、規模縮小開催、再度延期または中止の判断を役員会にて行うことにしています。その結果は改めて時習館同窓会関西支部のホームページにてお伝えいたします。

新型コロナウイルスに打ち勝ち、安心して皆さんと笑顔でお会いする日が早く訪れることを念じています。皆さん、くれぐれも、体調に留意され、この異例の時期を乗り越えましょう。

時習館同窓会関西支部ホームページURL <http://jk-kansai.com/>

記

2021年度

第54回時習館同窓会関西支部総会・懇親会予定

と き：2021年6月13日(日) 11時～15時

と ころ：シーサイドホテル舞子ビラ神戸「春秋の間」

会 費：10,000円 (学生 3,000円)

本誌では現状を反映し、「コロナ禍での生活」をキーワードにして編集しました。  
(注) 年号表記は西暦を基本とします。状況に応じて和暦も随時、使います。(編集部)



## もくじ

元気な国を取り戻したい	支部長 石川吉之助	1
<b>〈支部活動報告など〉</b>		
コロナ禍の Web による同窓会活動	副支部長 竹内 隆夫	2
一筆啓上 (グーグルグループ「時習-関西」投稿記事から)		5
2020 年度分年会費納入者及び「鈴木亜由子さん応援募金」途中報告		10
会計報告及び 2020 年度時習館同窓会関西支部役員		11
<b>〈特別寄稿〉</b>		
コロナ禍で考えた「自ら考え 自ら成す」について	時習館高等学校 須藤 絢美	13
時習館同窓会「総会」の真実	時習館同窓会本部 大河 一夫	16
<b>〈特集記事、コロナ禍での生活〉</b>		
コロナ禍におけるフレイル予防～コロナで要介護者が増えている！～	松井誠一郎	21
<b>〈特別投稿〉</b>		
俳句と散歩の隠居三昧	真木 康守	27
私の中の三河人	前田 充康	30
<b>〈会員便り コロナ禍での生活〉</b>		
スリリングな我が航海誌(その5)	成田 一郎	37
高校生活をふりかえり	美馬 洋子	44
野山をもっと 歩きたい	吉田 久善	46
折り紙クラブ立ち上げでコロナうつ回避	熊谷 信哉	49
昨年を振り返って	神藤真由美	52
ウォーキングを欠かせぬ日課に	太田 智子	53
「弱さ」と向き合いながら生きる～我が自分史から～	千葉 泉	55
コロナ禍のおうち時間	久本 あい	59
歌を忘れぬカナリアの with コロナ奮闘記	峯島 望美	61
大石由紀子さんペスタロッチャー教育賞を受賞	編集委員会	64
鈴木亜由子さん情報	同上	65
<b>〈支部だより〉</b>		
コロナを避けてちよつと間の楽しみ	河合 行朗	67
<b>〈お知らせ〉</b>		
「事務局からのお知らせ」および「会員の動静」		71
「会計からのお知らせ」および『時習館かんさい』へ投稿してみませんか		73
編集余話		74



## 元気な国を取り戻したい

時習館同窓会関西支部

支部長 石川 吉之助（時習 12）

新型コロナウイルス感染症拡大のなか、2021年は明けた。誰しも予想だにできなかった大災害が人々を襲い、生活も経済も未曾有の影響を受けている。この1年で世の中には大変化が起こり、産業界ではDX（デジタル・トランスフォーメーション）が加速した。在宅勤務・オンラインによる会議や対談がどんどん進み、海外・国内の出張が大幅減となったのが実情。4～5年は時代が先に進んだという実感がある。

昨年9月に発足した菅新内閣の所信表明では、2050年までに「脱炭素社会の実現をめざす、カーボンニュートラル」が宣言された。環境問題先進国の欧州の国々はもちろん、米国バイデン新大統領は就任早々にパリ協定への復帰を決めるなど、この先世界的にSDGs（持続可能な開発目標）への取り組みが大きく前進することは間違いないだろう。

コロナ禍で頼りのワクチン開発では米独英や中国、ロシア、インドにも我が国は遅れ、「ワクチン後進国」に甘んじている。「デジタル後進国」も鮮明で、行政のデジタル化はお粗末だ。高速通信規格「5G」では競争に参入も出来ず、半導体分野では今や中国、韓国、台湾の後塵を拝する。あるいは

「ジェンダー後進国」では世界120位であるとのこと。

世界中がコロナ禍で困難に直面しているが、我が国こそ劣化した国力を取り戻し、明るく元気な国を取り戻したいところである。

「故郷は遠くにありて思ふもの」と室生犀星は詩っています。

コロナ禍のストレスいっぱいの今こそ時習館同窓会関西支部の皆様と豊橋を思い出し、若い時代を語りながら、三密を避けマスク会食で楽しいひとときを共有したく、以下の要領にて実施する計画を立てています。

・日時：2021年6月13日（日）

11:00～15:00

・場所：

シーサイドホテル舞子ビラ神戸

ただ、今後の変異ウイルスの動向やワクチンの実施状況を見ながらの判断になりますが、何とか、会員皆様と笑顔で再会したいものです。



## コロナ禍の Web による同窓会活動



副支部長 竹内隆夫（時習 21）



### ○ 特別な年の同窓会活動

同窓会史上初めて感染症による総会が延期、予定していた同窓会活動は休止状態になりました。そこで、会員の交流は Web 上で行うことを企画し、グーグルグループ「時習－関西」や「Web 時習サロン」など工夫しながら活動を行ってきました。その経緯について簡単に報告いたします。

### ○ グーグルグループ「時習－関西」の結成

昨年 3 月下旬頃、『時習館かんさい』の締め切り間近の時期だったと記憶しています。

6 月 14 日の舞子ビラでの総会の準備が進められているときでした。



舞子ビラ外観

世間では、新型コロナウイルスの脅威が報道され、東京オリンピックの 1 年延期が決定しました。そのような状況の中で、このまま 6 月総会の準備を進めていいたら大きな混乱が生じると思い、私が言い出し人になり、東京オリンピック方式で、総会を 1 年延期したらどうかと提案しました。

他の方々も状況を見て延期に賛同され、すんなりと延期は決まりました。そうしてみると、このまま 1 年間同窓会メンバーとの意思疎通等が一切なくなってしまうのが残念であり寂しい気がしました。

その時、まず思いついたのがメーリングリストを作り、多人数間で一度にメールで意思疎通することでした。

調べてみると、「グーグルグループ」が使いやすいだったので、早速グーグルグループで「時習－関西」というグループを作成しました。

事務局長の伊藤忠男さんをお願いして、メールアドレスのわかっている方のアドレスを頂き、ドンドン入力していきました。

その結果、入力されたアドレスは、現在 139 名になっています（1 人の人のアドレスが複数登録されている部分もあるので、人数としては 130 人程度だと思います）。

これにより、メールを 1 通作成し、「時習－関西」のアドレスに送信すれば約 130 名に瞬時にメールが送れるようになりました。

これは便利なもので、会員間での情報交換や近況が簡単に共有可能になります。多くの方からの投稿がありました。その一端は「一筆啓上」とし

て、紹介しています。

また、その中には、心とます写真もあり、コロナ禍の生活を潤してくれました。



筆者がグーグルグループ「時習ー関西」に載せた睡蓮とバラの写真（左下も同様）



吉田久善さん（時15）提供の鈴木亜由子さん掲載雑誌

### ○ 「Web 時習サロン」開設の経緯

メールでの情報交換では物足りず、直接会話する機会が必要であるとの思いが強くなりました。

コロナ禍ではリモートワークが普及し、企業や講演会など Web 会議、Web 懇親会が盛んに利用されていました。それを同窓会行事に取り入れられないか検討することになりました。当時、一般的に用いられていたアプリケーションは主に ZOOM でした。

調べてみますと、ZOOM には、情報漏えいという問題がありましたが、一方では非常に簡便なリモート会議ツールであることが分かりました。

このツールを使えば、コロナ感染を心配することなくいつでもリモートで会議が出来ます。しか

も、同窓会だから、特段の機密事項はないので、情報漏えいに敏感になる必要はないとの思いもありました。実際その後、情報漏えいの問題は生じていないので安心しています。

そこで、早速グーグルグループ「時習ー関西」で、時習ーZoomーサロンを開始する旨を案内し、参加希望者を募ることにしました。

その結果、今では 37 名のアドレスが時習ーZoomーサロンに登録されています。

ログを振り返ってみると、4 月には「時習ー関西」というグループと、その一部としての「時習ーZoomーサロン」というグループを結成し活動を開始していました。

### ○ Web 時習サロンの活動

第 1 回は昨年 5 月 2 日に開催しています。ただ、この時には、招待メールをクリックしても Zoom に参加できないとか、参加は出来たが、音が出ないというトラブルがいくつか発生していました。

このため、6 月初めには接続テストを行い、スムーズに参加できるよう工夫をしてくれています。

第 2 回は、本来の舞子ビラでの総会予定日であった 6 月 14 日に開催しました。

コロナが収まってきたのと、人恋しさも手伝って、リアルなサロンが待望されていたので、第 3 回は大阪倶楽部でのリアルーZoomーコラボサロンを行うことにしました。



第 3 回のリアルーZoomーコラボサロンでの写真  
吉田さん（時15）鈴木喜美子さん（時36）藤田さん（時15）

大阪倶楽部でリアルサロンを開催し、そこに iPad を持ち込み、Zoom で参加する人ともお話出来るという企画でした。

第4回は8月8日、第5回は9月12日、第6回は10月17日、第7回は11月14日に開催しています。



第5回Web 時習サロンの風景  
(画面スクリーンショットより)

そして、第8回は12月12日に、緊急事態宣言下でしたが、大阪倶楽部リアルZoomコラボ忘年会を開催しました。リアルの参加者は4名であり、密とは無縁な状態での会食を楽しんだのも忘れられない行事になりました。



広い会場に4人  
密と無縁でした



第8回のリアルZoomコラボサロン写真  
小野さん(時13) 吉田さん(時15)  
藤田さん(時15) 竹内さん(時21)

第9回は今年2月23日でした。第10回は3月30日に行いました。



第10回Web 時習サロンの風景  
(画面スクリーンショットより)

Web 時習サロンは、概ね10名程度の参加で推移しています。東京からも14回の岡田さん、21回の横井さんが参加してくれています。

### 〇 感想

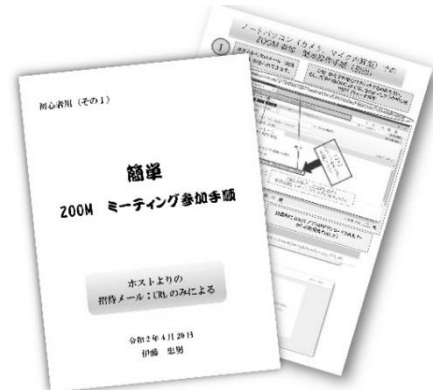
コロナのない時の時習サロンは、年4回でしたから、Zoom になり、手軽になった分、回数を増やすことが出来ています。

コロナが発生したために、グーグルグループを覚え、Zoom も覚え、新しいことが出来るようになったことは、個人的には、嬉しく思っています。

最近では、「調整さん」を活用することも覚え、日程調整が格段に簡単になっています。

ワクチンが行き届けば、コロナ以前の世界に戻れるかもしれませんが、変わってしまい元に戻らない部分があるかもしれません。同窓会活動も時代と共に変わっていかざるを得ない気がします。

Zoomサロンは気軽に開くことができますので、ワクチンが行き届き、コロナが収束した後も、利用する余地があると考えています。



グーグルグループ「時習-関西」にて紹介した簡単なZoom参加手順の手引

会員だより

一筆啓上 (筆者名は敬称略)

コロナ禍で交流に腐心しています——

コロナ禍で同窓会の意思疎通用に始まったメールリングリストに、いつしか皆さんが近況を伝えてくださるようになりました。寄せられた近況のいくつかを紹介します。



石川 吉之助 (時習 12)

○ リアルの面談したい

メール拝見、ご無沙汰しています。お元気の様子何よりです、小生も相変わらず毎日 8 時前には出勤しています。オンラインで国内海外とも連絡や会議はできる時代ではありますが、そろそろリアルでの面談の必要性を強く感じるようになりました。

早く移動ができる状況になって欲しいものです。同窓会の皆様との再会を、首を長くして楽しみにしています。(2021・2・12)



竹内隆夫 (時習 21)

○ NHK朝ドラ「エール」の撮影場所

以前、利根川躍さんや森下傭子さんの投稿でNHKの朝ドラ「エール」の豊橋における撮影場所が話題になっていました。それにつき 15 回の吉田久善さんが、豊橋に住む兄の吉田茂さん(戦後 5 次にあたって総理大臣を務めた人と同姓同名。時習 13) から資料を送ってもらったということで、私のところに届けてくれました。

撮影場所は森下さんが指摘していた通り豊橋公園、表浜海岸、梶本八幡社で、豊橋市が「エールのまち豊橋」というパンフレットを作っているそうです。

古関裕而さんが『金子さん物語』としてコンパクトにまとめられたパンフレットもありまし

た。このパンフレットで初めて知ったのですが、関西居住者にはおなじみの「六甲おろし」も古関裕而さんの作曲ということ。(2020・5・20)

○ 鈴木亜由子さんについての記事

今日も吉田久善さんに届けていただいた資料を添付します。『a i s p o』という愛知県が発行している小冊子です。

この冊子で紹介されている女子マラソンの鈴木亜由子さんは、もちろん時習館の後輩です。この記事で男子マラソンの服部勇馬選手もトヨタ自動車田原工場ということで東三河と縁が深いことを知りました。

それにしてもオリンピックが 1 年延期になり、さらに開催自体危ぶまれる状況ですから、選手たちはモチベーションの維持に苦労しているのでしょうか。(2020・5・22)

○ 奈良へ行ってきました

日曜日に久しぶりに奈良の大仏さんを拝んできました。修学旅行生もたくさんいました。それにしても、1300 年前にこんな大きなものを造っていたのかと思うと、改めて驚きます。

10 月 17 日の ZOOM-飲み会の招待メールは、今朝、時習-ZOOM-サロンのメンバーの方にお送りしました。(2020・10・14)



○ 緊急事態宣言発令中

正月休みでゆっくり過ごしている間に、緊急事態宣言発令となり、go to travel も停止となり、楽しみを奪われ落ち込んでいる間に2月になってしまいました。

今日は、天気も良く、暖かかったので元気が出て、大阪城の梅林に散歩に行ってきました。

そして、夜は、オペラ歌手峯島望美さんの歌芝居コンサートをスマホで視聴しました。感動ものです。(2021・2・7)



片岡聰子 (時習 14)

○ 私も奈良は大好き

いつもZOOMサロンの招待メールをありがとうございます。土曜日の夜は孫たちが来たり、行ったりで、ZOOMサロンの時間にゆっくり出来ません。次回参加出来たらと思っています。

私も奈良は大好きです。お彼岸にお墓参りして、近くの長谷寺に行ってきました。

清水寺より少し小ぶりですが、立派な懸崖作りの舞台があり、見事でした。

石段を登るのが本当に大変。体力が衰え、これでは災害時に避難所まで逃げられないと実感しました。コロナ禍の中ですが、お陰さまで元気に過ごしています。(2020・10・16)



伊藤忠男 (時習 13)

○ 元気になった鈴木亜由子さん

吉田久善さん、『a i s p o』ありがとうございます。ご返事ありがとうございます。

須藤絢美校内幹事(時習 50)は、この記事をご存じなかったのをお送りしておきました。小野全子本部副会長からは『時習館かんさい』34号で亜由子さんの記事を含む原稿をいただいたので、お持ちかどうかお尋ねしてみようと思っています。

亜由子さんの恩師夏目先生や亜由子さんのお父様より、彼女の現況についてお聞きしていますので、お伝えします。

亜由子さんが2019年末に太もも内転筋肉離れで練習を控えていたこと、皆さんご存じかと思いますが、2020年5月に入りリハビリの効果が出てトレーニングを開始出来るようになったそうです。

太もも内転筋は無理をすると再発が癖になる極めてやっかいな怪我とのことで「じっくり完治させてからの始動を」と慎重なリハビリを続けてきたようです。

コロナ禍によりオリンピックが延期されましたが、亜由子さんにとっては天から授かった休養期間。夏目先生は「亜由子は運を持っているぞ」と本人を励ましたとか。

本人からは最近「寮で本格的なトレーニングを開始しました。調子が上向いてきています。皆さんにご心配なく、とお伝え下さい」とのメールがお父様を通じて寄せられています。

ただ、夏目先生からは「亜由子は調子が上がれば上がるほど頑張るところがある。緊張感を保ち続けることが心配だ」「どこかで、リラックスアクセルを踏み直すことが必要になる。そのお手伝いが出来れば。また、その時はご相談したい」との依頼が来ています。

いずれにしても亜由子さんの「持っている運」を活かせるよう協力していく予定で、随時、彼



**松下和正（時習 14）**

**○ 多くの戦争遺跡が残る加西で平和学習を**

最近はすっかりご無沙汰しています。私は兵庫県加西市にいますので、中国自動車道高速バスで大阪駅まで2時間近くかかります。コロナ禍のご時世、バスで往復3時間以上かけていくのには躊躇します。

兵庫県知事は「コロナが蔓延している東京、大阪とは付き合うな」と“警告”を発しています。兵庫県は日本海から瀬戸内海までの広い県です。コロナ禍は大阪、神戸、姫路を結ぶ瀬戸内海沿岸部の細く狭い範囲が主で、少し北へ行けば大丈夫ですが、正直のところ、大阪には行きたくないとの気持ちが強いです。



代わりに私の近況をお知らせしておきます。北播磨地区は『日本書紀』『古事記』『播磨風土記』などにちなむ古跡、古墳が多くあります。江戸時代は赤穂藩の飛び地でもあったので、大石内蔵助などにちなむゆかりの場所も非常に多くあります。私はここで「加西市歴史街道ボランティアガイド」をしています。

歴史にまつわるゆかりの場所だけでなく、最近「鶴野飛行場跡」が注目されています。太平洋戦争が始まってから不足するパイロットを訓練養成するための飛行場で、伊丹空港ぐらいの広さがあります。そこに長さ1,200m 幅60mの滑走路、さらに多くの掩体(えんたい)壕、機銃座跡、50カ所ぐらいの防空壕、弾薬庫などがそのまま残っており壮観です。

これだけ多くの戦争遺跡が残っているのは日

本中でほとんどありません。多くの小学校、中学校が「平和学習」体験修学旅行で沖縄、長崎、広島に行っていましたが、コロナ禍のため関西地区の小学校、中学校が近くの鶴野飛行場に注目し、2020年の秋には80校以上の学校が修学旅行に来ています。

私も鶴野飛行場跡をガイドし「平和学習」への手助けなどを行っています。また有名な「ゼロ戦闘機」に代わる神戸鳴尾、姫路などで開発生産された「紫電改」と形、大きさ、材質、色などが全く同じものが展示されており、近隣のみでなく関東からも多くの見学者が訪れています。平日も賑やかですが、土、日はかなり混雑し、広い広い駐車場も満杯状態。ただ野外で、そよ風がいつも吹いている所ですので、いわゆる「3密」にはならず安心していきます。

もし皆様、関心がありましたら加西市の鶴野飛行場跡に来てください。ガイドがいないと不便かと思えます。

加西市観光案内所 Tel:Fax 0790-42-8823

E-mail: kasai-8823@utopia.ocn.ne.jp

に申し込みば案内のガイドを付けてくれます。

ただし市内にはバスなどの公共交通機関は一切ありません。自家用車などで来られるのが良いかと思えます。(2020・12・9)



**クイーンズ駅伝の鈴木亜由子さんの活躍**

鈴木亜由子さんの活躍には、多くの感想が寄せられました。(2020・11・22)

**○ 竹内隆夫（時習 21）**

今日のクイーンズ駅伝 2020、時習館 OB の鈴木亜由子さんが、第5区で55秒差をひっくり返して首位に立ち、2位に29秒差をつける快走をし、JT日本郵政グループを優勝に導きましたね。

故障を乗り越えての快走であり、来年の東京オリンピック女子マラソンでの活躍が期待されます。



2020年度分 年会費納入者

2020年度分 年会費納入者（シニア会員）

杉浦 昭典 (豊47)	杉原 伸一 (時8)	小田 宗 (時13)	井上 漢龍 (時16)	岡田 順子 (時20)
花田 庄司 (豊49)	近藤 泰彦 (時9)	小野 英道 (時13)	宇井 正和 (時17)	岡田 行功 (時20)
人見裕二郎 (豊49)	大石由紀子 (時10)	近藤 洋 (時13)	市川 光雄 (時17)	河合 行朗 (時20)
福井 信雄 (豊49)	菅原 民生 (時10)	森下 宣彦 (時13)	桑木 桂子 (時17)	小西 康雄 (時20)
古田益太郎 (豊49)	田中 迪子 (時10)	石田 天祐 (時14)	白井 一次 (時17)	鈴木 自 (時20)
彦坂 利久 (時3)	土屋 好重 (時10)	遠藤 征宏 (時14)	花井 俊作 (時17)	松浦 茂男 (時20)
小野田邦重 (豊4)	土屋登芝子 (時10)	岡田 康彦 (時14)	山村 信哉 (時17)	山口 隆昭 (時20)
松永 宜範 (時4)	成田 一郎 (時10)	片岡 聰子 (時14)	吉岡 順子 (時17)	山口真知子 (時20)
藤村 恵子 (時4)	荒島 啓子 (時11)	川瀬 義隆 (時14)	小田 賢治 (時18)	梅田 洋一 (時21)
伴 正義 (時4)	竹内 郁子 (時11)	藤巻 篤子 (時14)	池田 和子 (時18)	鈴木加代子 (時21)
大林 冷子 (時6)	嶺田 次夫 (時11)	古田 啓子 (時14)	草津 正治 (時18)	鈴木 省三 (時21)
東海 和子 (時7)	美馬 洋子 (時11)	松下 和正 (時14)	熊谷 信哉 (時18)	鈴木 晴久 (時21)
廣田 襄 (時7)	石川吉之助 (時12)	鈴木 寛治 (時15)	酒井 康利 (時18)	鈴木 良始 (時21)
廣田 輝子 (時7)	川勝英十津 (時12)	田村駒二郎 (時15)	鈴木 康浩 (時18)	竹内 隆夫 (時21)
前田 泰宏 (時7)	近藤 修 (時12)	藤田 和弘 (時15)	堂本こすぎ (時18)	利根川 躍 (時21)
岩田 孝枝 (時8)	鈴木 茂樹 (時12)	山崎 達彦 (時15)	横田兼二郎 (時18)	松岡 讓 (時21)
片岡優美子 (時8)	山下 洋子 (時12)	吉田 久善 (時15)	吉田 眞子 (時18)	横井 愛子 (時21)
草場 恒夫 (時8)	伊藤 忠男 (時13)	石黒 和廣 (時16)	富山 幸世 (時19)	米田 隆子 (時21)
榊原 勝朗 (時8)	伊藤 昭 (時13)	高柳 枝直 (時16)	宇留島美恵 (時20)	

第53回総会にて、従来の「賛助会員」を「シニア会員」とすることが承認されました。詳しくは、「事務局からお知らせとお願い」を参照してください。

2020年度分 年会費納入者（正会員）

太田 房江 (時22)	高野 光代 (時24)	善積あさみ (時25)	山本 政義 (時28)	是松 美尋 (時46)
石田 温子 (時22)	中根巳貴男 (時24)	鈴木 優 (時26)	近田 昇 (時35)	福田 悦子 (時46)
今川 正良 (時22)	原田 典彦 (時24)	林 政司 (時26)	金井 裕子 (時36)	川島 正樹 (時48)
河合左千夫 (時22)	宮崎 裕二 (時24)	和泉 裕子 (時27)	鈴木富美子 (時36)	吉田 知未 (時50)
夏目恵吏子 (時22)	山本 雄二 (時24)	鬼本英太郎 (時27)	西岡 洋子 (時36)	尾野 文香 (時56)
西井 完 (時22)	石田 展也 (時25)	北川 井子 (時27)	布藤 知康 (時36)	山本 諭 (時56)
萩原 敏 (時22)	井本千津子 (時25)	不破 靖 (時27)	本田 一彦 (時40)	山本 美帆 (時56)
岸本 由枝 (時23)	太田 智子 (時25)	藤井 順子 (時28)	大林 浩治 (時41)	加藤明日香 (時66)
中西 立美 (時23)	大道 安代 (時25)	真木 伸治 (時29)	東 孝次郎 (時44)	柳 菜津子 (時66)
高桑 眞子 (時23)	加藤 公也 (時25)	菊井 昌代 (時30)	佐野 省吾 (時44)	
岡田 博子 (時24)	田中 義宏 (時25)	垣内亜佐子 (時32)	久本 愛 (時44)	
竹内 光一 (時24)	森下 庸子 (時25)	中村利久子 (時33)	峯島 望美 (時44)	

(本誌作成着手以降にお振り込みいただいた方については、正確でない場合が考えられますので、その際はご容赦願います)

「鈴木亜由子さん応援募金」途中報告

三菱UFJ銀行 住吉支店 (店番513) 普通 0468199

現在までに、皆さんからご協力いただいた入金額および支出額は次のとおりです。

(入金の一部)		(支出の一部)	
時習館支援東京基金より	218,500	水野染工場 (寄書き用旗代金)	81,380
個人およびグループより	255,760		
利息	1		
(合計)	474,261	(合計)	81,380

現残高合計：392,881円

本応援募金は、時習館同窓会として行っていて、本部、東京、名古屋および関西各地区の全同窓会会員を対象としています。なお、ご協力者のお名前、名称は省かせていただきます。

応援募金は本年6月末まで続行いたします。皆さんの御協力をお願いいたします。

## 会計報告

2019年度および2020年度の会計報告は第54回総会またはそれに代わる方法にて審議いただく予定です。

### 会計報告書 2019年度

(収入の部)		(支出の部)	
前期繰越金	752,123	総会費(ザ・ランドマークスクエア)	882,076
総会会費	680,000	会報印刷代、通信費&印刷代	435,949
正会員&シニア会員年会費	364,000	出張費・交通費	94,858
支部育成費(本部より)	150,000	他支部交流費	10,000
寄付金	10,000	雑費(会議室費他)	7,943
雑収入(さろん残余金)	9,720	送金手数料	23,694
普通預金利息	4	次期繰越金	511,327
(合計)	1,965,847	(合計)	1,965,847

以上のとおりであります。

2020年4月6日 会計 花井 俊作

2019年度の事業の収支報告について、会計帳簿ならびに証憑書類について監査した結果、その収支および取り扱い方法は適正に執行されていたと認めます。

2020年4月6日 監事 利根川 躍

### 会計報告書 2020年度

(収入の部)		(支出の部)	
前期繰越金	511,327	会報印刷代	327,965
正会員年会費	104,000	通信費	97,984
シニア会員年会費	231,000	出張費・交通費	22,280
支部育成費(本部より)	150,000	他支部交流費	0
寄付金	0	雑費(会議室費他)	903
雑収入	0	送金手数料	21,505
普通預金利息	1	次期繰越金	525,691
(合計)	996,328	(合計)	996,328

以上のとおりであります。

2021年4月7日 会計 花井 俊作

2020年度の事業の収支報告について、会計帳簿ならびに証憑書類について監査した結果、その収支および取り扱い方法は適正に執行されていたと認めます。

2021年4月7日 監事 利根川 躍

### 2020年度 時習館同窓会関西支部役員

H ・ ペ ー ジ 担 当	顧 監 会		理 事	副 支
	問 事 計		務 局 長	部 部 長
	松大 中春 利花 尾久 東鈴 近馬 阿松 北鬼 鈴森 宮中 米松 鈴長 岡三 堂鈴 藤片 伊 竹河 山松 川鈴 石			川 吉
	井石 村山 根井 野本 木田 場久 井川 本木 下崎 西田 岡木 野田 井本 木田 岡 藤 内合 村下 瀬木			木 助
	誠由 川 俊文 孝富 奈津 誠英			之
	一紀 和丈 俊文 式美 昇都 詠一 井太 庸裕 立隆 晴鈴 行節 す康 和聰 忠 隆行 信和 義茂			助
	郎子 歳夫 躍作 香愛 郎子 子美 郎子 郎優 子二 美子 譲久 代功 子ぎ 浩弘 子男 夫朗 哉正 隆樹			
(時	(時	(時	(時	(時
27)	10)	9)	47)	21)
	17)	56)	44)	36)
	35)	32)	30)	27)
	27)	27)	27)	26)
	25)	24)	23)	21)
	21)	21)	21)	20)
	19)	18)	18)	15)
	14)	13)	21)	20)
	17)	14)	14)	12)
	12)	12)	12)	12)

(注) 川瀬副支部長は、2020年12月にご逝去されましたが、任期中のためそのまま記載しています

# 特別寄稿

## 母校、本部よりの便り



母校よりの報告



吹奏楽部  
全国大会へ

申

コロナ禍で考えた  
「自ら考え 自ら成す」について  
～生徒との関わりの中で見えてきたもの～



時習館高等学校教諭

須藤 絢美 (時 50)

平素より時習館高校の教育活動へのご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。時習 50 回の須藤と申します。このコロナ禍で、関西の皆様も相当な制限、ご苦労があったとお察し申し上げます。このような状況下で私のような者が筆を執っていいのだろうかと考えますが、この1年、本校で見つめたものをご報告致します。なお、令和3年3月14日時点でこの記事を書いています。

○ 学校の様子 (令和2年度)

臨時休校中に始まった令和2年度は、入学式は無事挙行され、第75回生320名が入学してきました。2・3年生も含めた全校生徒は、その後出校日が何日か設定されましたが、基本的には自宅で課題に取り組む毎日となりました。教職員は交代で在宅勤務となり、毎日同僚と顔を合わせることができなくなりました。3年生は部活動の集大成となる総体予選やコンクール等が、感染拡大防止のため相次いで中止を余儀なくされました。

5月中旬から担任による面接週間が始まり、生徒は自分の時間になったら登校、終わったらすぐに帰宅となりました(このあたりは後述します)。5月末になるとようやく分散登校が始まりました。本校では名簿番号の奇数の生徒と偶数の生徒が一日おきに出校することとし、これが2週間続いたあと、6月上旬から通常通り授業が再開され

ました。生徒、教職員一同、同窓会からご支援いただいた消毒液を使い、感染予防に努めながら、毎日を過ごしてきました。

学校行事は、4月に予定されていた新入生歓迎会と6月に予定されていた球技大会は中止、同月の長崎・福岡方面の修学旅行は11月に延期となりました。イギリス、ドイツ、マレーシアの姉妹校との国際交流は、感染症の影響ですべて中止となりました。そして、授業時間確保のため、夏休みは短縮になりました。

しかし、コロナ禍でもできた取り組みもたくさんあります。本校は理数科教育に力をいれる文部科学省指定SSH(スーパー・サイエンス・ハイスクール)として、豊橋技術科学大学での実習はできなかったものの、オンラインによる発表、指導をいただきました。



オンライン授業イメージ図  
実習もこの機会に

グローバル人材育成のための愛知県教育委員会のAGH(あいち・グローバル・ハイスクール)

の指定も受けており、こちらもオンラインで企業訪問、大学訪問をしました。

次に部活動では、その後再開された1・2年生が対象となる大会で成果が出ました。吹奏楽部は全国大会へ、陸上部と弓道部は東海大会へ進出しました。



改修工事が終わった体育館

そして、3月1日には改修工事が終わった体育館で卒業証書授与式が無事に挙行されました。

### ○ 担任として見つめてきたもの

令和2年度は2年担任でした。1年からの持ち上がりということもあり、知っている生徒が多く、安心して新年度を迎えましたが、臨時休校中で始業式後は授業が再開されませんでした。学校があるのに機能しない、つまり、教育活動が強制終了しました。

自分のクラスの教室に行き、教壇に立ってみました。そこは何の音もしない、誰もいない静かな空間でした。



生徒のいない教室  
教室前ドアから がらんとしている  
満目蕭条として、空漠たる思いなり

私って何なんだろう、と思ったわけです。とり

あえず、生徒の机や椅子の位置を揃えたりして。下を向いて、とぼとぼ職員室に帰る自分。伝える相手がない寂しさ、むなしさ、これが身に染みたくてです。その後は前述したとおり、5月の連休明けに担任による面談を行うことができ、ようやくそこで生徒と話すことができました。生徒の話を聴くって、本当に楽しい。生活が見えてくる。そして、生徒から「学校っていつから始まるんですか?」と。生徒って、臨時休校が決まったときは飛び跳ねて喜んでたのに、(やっぱり)学校に行きたい、となるんです。学校の持つ力は本当にすごいな、と思いました。

やがて、分散登校が始まり、前述したとおり名簿番号の奇数の生徒が登校すると、生徒は「奇数友達」を作り、偶数の生徒は「偶数友達」を作り始めました。そして、教員はいよいよ授業再開! 結局、同じクラスでも同じ授業を2回やるのですが、私は教員として息を吹き返しました。私は時折ぼけていて、奇数の生徒の登校日と偶数の生徒の登校日を勘違いした日がありました。つまり、同じ授業の入りをしてしまい、「それ、聞きましたよ」と生徒から突っ込まれ、恥ずかしい思いを。でも、結果的に笑いが取れた。そのとき、「神様、ありがとうございます!」と思いました。お互いがほぐれたわけですから。お互いの心に入っていけそうな空気に一瞬でもなったわけですから。こういった生徒との瞬間瞬間のやりとりで勝負をされていて、こうして教員をしている自分に気が付く。そして、生徒同士のやりとりも復活したのです。

学校万歳!そして、やはり教員としては、学校はただ楽しい場所だけでなく、「人は人によって育つ」という学校教育の超基本に立ち返れたのが嬉しかったです。

### ○ コロナ禍でやはり出現してきたもの

私は自分の本校の卒業式の日に誓ったことがあります。それは、「もうこの学校に戻ってくるもんか」ということです。なぜかと申しますと、落ちこぼれましたから。結局、大学受験に失敗、1

年浪人しました。しかし、私はこうして赴任したわけですから。そこで私は「生徒に何を伝えたいのだろうか」とずっと考えてきました。それが明確になったのが、このコロナ禍でした。伝えたいことは、第10代校長熊谷三郎先生のお言葉、教育目標の「自ら考え 自ら成す」でした。



有名な「自考の石」  
第10代校長 熊谷三郎先生の教え

コロナワクチンの効力は示されていますが、いつ収束するのかは、未だ不透明です。正解などない。用意されていない。そういう世の中を生徒は生きていかなければならない。そうすると、自ら考えて実践するしかない。そして、また修正して、また自ら考えて実践してみる。この繰り返しが必要なのではないだろうか、これが私の考えです。

○ となると、教員として必要なことは

私はあくまで教員なので、「自ら考え 自ら成す」ことのできる生徒の育成を目指します。しかし、これが実に難しい。担任として少し考えたことがあります。

先日愛知県からマスクが支給され、生徒に配布するときの出来事です。これを担任の私が教室に持って行く方がいいのか、それともクラスボックス（校長室前の廊下にある返却物等を入れるロッカーのこと）に入れて、生徒に教室に持っていかせるか、の判断のときです。担任によって反応はさまざまでした。私は迷った末、マスクをクラスボックスに入れることにしました。そうしたら、生徒が嬉しそうに教室まで運搬してきました。そこで、「わー、マスクだー」「愛知県って、お金持

ちー」という会話が生徒同士で起こったのです。それに私が「あ、これベトナム産じゃん。珍しいねー」と表記を初めて見たかのような演技をして、生徒の会話に入っていたのです。

また、「神様、ありがとう！」と思いました。生徒は箱からマスクを取り出し、嬉しそうに配布していく。私が配布するよりずっと生徒の会話を引き出した瞬間でした。まあ、これが教員版「自ら考え 自ら成す」なのかどうかは判断が分かれるところですが、教員に余裕があるとき、このような判断ができるものです。つまり、教員の心のなかに「余裕」、「自由」を意識できるか、だと思います。

○ 司書室内秘密金庫でさらに発見したもの

私は図書を担当しており、昨年この紙面で司書室内秘密金庫のことを書きました。中には、昔々の卒業アルバム等があり、その中で昭和27年の卒業アルバムに目が止まりました。そこにはなんと、熊谷校長直筆のサインがあり、「自ら考え 自ら成すことのできる人間たれ」とありました。



熊谷先生の自筆の書か  
1952年（昭和27年）の卒業アルバムより  
（司書室所蔵）：「自ら考え 自ら成すこと  
のできる人間たれ 熊谷」とある

これは突き刺さる言葉でした。熊谷校長の一つの願いだったのでしょ。人間はすぐには変わらないという人間の本质にも向き合いながら、この言葉を胸に今日も生徒と向き合いたいと思います。

本部よりの報告



時習館同窓会「総会」の真実

同窓会本部 幹事長 大河 一夫 (時 16)



○ 本部総会中止の決定

令和2年2月、コロナの感染が広がろうとしていた矢先、大きな不安を抱え鈴木亜由子選手のオリンピック出場内定激励会を行った。その当時として、でき得る限りの対策を施してのことである。もちろん、予定していた食事会は中止した。



令和2年2月22日 鈴木亜由子選手激励会

この前日、本部役員会を開催し、この状況下で、同窓会行事をどうするか相談した。とりわけ総会の開催をどうするかであった。例年通りの形で開くのは無理であると思われた。でも、何らかの形で開催しなければならないはず、中止の考えはなかった。規模を縮小し、理事会および総会で必要な議事を行おうと決めた。もちろん、会食や懇親会は無く、会員の参加も極力控え、密にならない条件での開催を企画することとした。

しかし、それ以後、全国的にコロナ感染者が増加の一途をたどる。亜由子さんの激励会も一週間遅れれば開催すらできなかつたと思われるほど劇的に変化した。

3月に入り、オリンピックの延期、プロ野球を含むスポーツイベントや各種集会行事等、悉く自粛への動きが広がった。各支部での同窓会総会の中止、さらに他校でも同窓会行事を中止、講演会なども軒並みに無くなるとの情報が入ってきた。学校も休校すると発表された。

4月には緊急事態宣言が出される中、急遽、役員会を開いた。この状況下では、集会行事を行うのは無理との空気が広がり、誰一人反対の意見は

無く、総会中止の決定を下した。



ただ、中止は60年の歴史の中で初めての経験となる。規約上はどんな取り扱いになるのか懸念された。

そこで、改めて「総会」について同窓会の規約を読み返してみた。すると、意外なことを発見した。結論的に言うと、同窓会行事のすべてが規約に記載されているのではなく、時には規約に拘らず、同窓会活動を維持発展させてきたことが分かった。その歴史の一端を紐解いてみたい。

○ 本部総会の三原則と規約

現在、本部総会には、慣例上次の約束がある。

**時習館同窓会本部総会三原則**

毎年総会準備委員会を前年の12月と該当年の3月に開催します。

準備委員会では卒業25周年、50周年の代表者が実行委員となり5月の総会に向けた準備状況を報告します。実行委員の総会進行計画や懇親会企画について事務局・幹事会が助言する会が総会準備委員会です。次の三原則に沿って計画します。

本部総会の三原則

- 1 期日は5月の第2日曜日
- 2 会場は時習館高校内
- 3 卒業25周年、50周年を迎えた会員を表彰し、記念品を送る。

この三原則は、規約上どのように明記されているのか調べてみた。同窓会規約には、総会に関しては、日時のみの規定がある。戦前の豊橋第四中学校、豊橋中学校の同窓会規約では「夏期」・「創立記念日の4月18日前後」等の規約があり、戦後の時習館同窓会規約では日時は「5月第2日曜日」と明記されている。

平成4年～平成10年の総会は、平成3年に「5月の第2日曜日」の項目が削除されたため総会の日時が第2日曜から第3日曜の間を揺れていた。

平成3年に総会が学校での開催が難しくなったため急遽学校近隣のホテルでの開催となったことに端を発するものだった。

平成3年の内規10条の改正は、学校と違いホテルの事情で総会が5月の第2日曜が使用できないことを想定したものであろう。平成4年から平成9年の総会の日時はホテルの都合に合わせて開催されている。平成10年に総会が校内での実施が可能となり、平成11年総会の日時は内規の見直しにより5月の第2日曜日に復帰した。

会場を「時習館高校内」にする議決は見つからない。愛知県立豊橋中学校同窓会規約「母校校内で大会を開く」が共通理解されているのかもしれない。

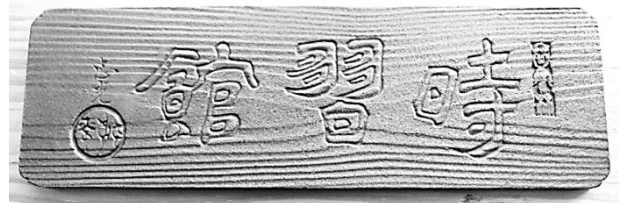
この総会期日以外、三原則に関連する規約条項は一切見当たらない。

**同窓会総会期日規定の変遷**

時習館同窓会以前	明治 39 年 愛知県立第四中学校同窓会
	条文 五 本会は毎年夏期において豊橋附近の地に大会を行う
	大正 11 年 愛知県豊橋中学校同窓会
戦後の時習館同窓会の規約	昭和 26 年 (昭和 26.5.13 改正)
	条文 六 本会は毎年創立記念日(4月18日)前後の日曜日に定時総会を開催する。(会場は明記されていない)
戦後の時習館同窓会の規約	昭和 35 年 (昭和 35.6.26 改正)
	条文 一四 総会は毎年一回、(5月の第2日曜日)に開催する。(会場は明記されていない)
	平成 3 年
	条文 10 条 総会は「5月の第2日曜日」の項目を削除した
戦後の時習館同窓会の規約	平成 11 年
	条文 10 条 総会は「5月の第2日曜日」を復活した。

**○ 規約にない卒業 25 周年、50 周年会員の表彰**

規約に規定のない、各種の行事はどのようにして定例化していったのか。とりわけ、卒業 25 周年、50 周年会員の表彰、記念品贈呈があり、半世紀近い歴史が刻まれている。記念品は昭和 40 年に始まり、卒業 25 周年には扁額「時習館」、卒業 50 周年には文鎮「学而時習之不亦説乎」が選ばれた。これは現在でも続いており、時習館卒業生の心の拠り所として喜ばれている。



扁額「時習館」と文鎮「学而時習之不亦説乎」

今でも続く、同窓会規約にはない卒業 25 周年、50 周年会員の表彰はどういった経緯で生まれたのだろうか。

今となつては、その時の状況をつぶさに示す資料はないが、こんなドラマチックなストーリーが思い浮かぶ。

NHKの人気番組「チョコちゃんに叱られる！」の中の「たぶんこうだった劇場」のアイデアを借用して「卒業 25 周年、50 周年の会員に記念品を贈ることになった経緯・たぶんこうだった劇場」を観ていただきたい。

登場人物は『時習館史』を執筆された近藤恒次先生と、当時の同窓会幹事長で校章の考案者・富安昌也先生。まん丸い黒縁メガネがトレードマークだった近藤先生と、中部デザインセンターを設立され、現代的でスマートな印象の富安先生。対極のような存在に見えるが共通点は母校時習館をこよなく愛されたこと、そして何よりも本物志向だったことだろう。

時習館創立 80 周年の記念事業の一つとして『時習館史』の刊行が決まった後、ある日、二人の名

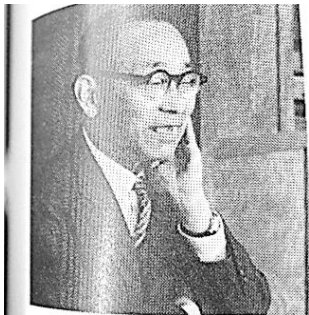
物先生の会話（敬称略）

**富安：**『時習館史』の中に同窓会の活躍ぶりの一項目も入れてもらえないだろうか。そうしていただければ卒業生が母校を思い出す縁（よすが）として母校から卒業生に記念品を贈呈する途も開けてくると思う。例えば卒業 25 周年とか卒業 50 周年の節目の年などに的を絞って」



富安先生

**近藤：**「資料にないものは書かない、出典のしっかりしたものでなければ取り上げない、というのが私の基本姿勢だ。同窓会員に記念品を出すということは規約のどこにも書いてないので難しいと思う」



近藤（恒）先生

**富安：**「どんな団体でもOBの存在に触れぬところはありますよ。他校は知らず本校の同窓会は特に戦後の躍進が目覚ましく、母校に対する協力や記念事業、そして何をおいても今回、このような『時習館史』を刊行するような大きな力を持っている団体。同窓会記述の件も何とかお願いしたい」

**近藤：**「うーん、同窓会はプライベートな任意団体だ。学校そのものとはあまり関係ないし、困ったなあ」

**富安：**『時習館史』の刊行を契機に、新しい総会の柱を作りたいんだ。節目の卒業回次に的を絞り記念品を贈ることは同窓会に対する認識を深め、会を盛大にする意味において、はなはだ有意義と思う。総会への出席者が年々少なくなっている。総会に同窓生を呼び戻すことが主眼だから何とか考えていただきたい」

**近藤：**「よおし、分かった。『時習館史』に同窓会の項目を書き加えることにしよう」

これは、私の想像・フィクションにすぎないが、『時習館史』の「あとがき」に残された原文からこのようなやり取りがあっても不思議ではない。

結果として『時習館史』に同窓会の活躍がとりあげられた

『時習館史』の本文には次のように書かれている。

……………（前 略）……………

なお、規約にはないが、

昭和四十年五月の総会において、卒業後五十年および二十五周年を迎えた会員で総会に出席した者に対し、記念品を贈ってこれを表彰することが決定された。

この企画は以来毎年続けられているが、総会に対する認識を深め、会を盛大ならしめる意味においてはなはだ有意義であるとして、会員間に好評である。

「時習館史」 P.1365 原文のまま

## ○ 節目の卒業生への記念品贈呈から生まれた母校の発展

卒業 25 周年、50 周年の表彰を受けた会員から母校へ記念品を贈呈する事業も始まり、次の学年にも引き継がれていった。この記念事業の実施に関しては記念品の項目が記録として残っている（記念品の項目一覧表は資料を参照\*）ものの、これがどのような過程を経て 50 年にわたり実施されてきたかは分からない。各学年が記念事業を行うことは同窓会規約にもない。総会で議決されたものでもなさそうだ。

ただ、現在の総会該当学年には、代々、総会開催に至る手順のマニュアルがあると聞く。記念事業（寄付）の実施については先輩からの申し送りで行われているらしい。25 周年が近づくと学年代表が 3 年前から学校（校長）に挨拶に行き、学校は何か欲しいものはないか希望を聞く。もちろん学校からはこれが欲しいというようなストレートな回答はない。

昭和 49 年～56 年頃は、創立 70 周年記念事業としての緑化計画が終了。それを補完するような植樹が各学年の記念事業とされた。その後は図書館、体育館、グラウンドなどに施設備品の寄付がされてきた。転機となったのは平成 15 年に卒業

50周年を迎えた時習5回生が寄贈した時習基金。公費が使えないものに充てることを目的とした学校支援基金の始まりである。平成24年卒業25周年時習39回生の第二グラウンド用の照明施設の寄贈は生徒から大いに歓迎された。ところが、大風によって破損し修理が必要となったが学校では修理費が出ない。これから維持費、修繕費が必要となる寄付寄贈は歓迎されなくなった。

少し戻って平成21年卒業50周年の時習11回生が企画した交換留学支援がある。これを契機に時習館高校は平成23年英国・セントポールズ校と姉妹校提携を結ぶ。SSH（スーパー・サイエンス・ハイスクール）、SGH（スーパー・グローバル・ハイスクール）の指定を受け、国際交流が特色となっていく。そして平成25年から卒業25周年、卒業50周年ともに国際交流助成金が寄付の主流となってきた。

このように本部総会を盛大にするために企画された卒業25周年、卒業50周年を表彰し、お祝いする仕組みが、同窓会を盛り上げ、さらに総会運営の該当学年が記念事業により時習館を盛り上げていくことになるなど予想もしなかったことであろう。



時習22回生のご寄付から購入した物品  
各教室に置かれた加湿器（24基）  
&  
手袋（10箱）  
フェイスシールド（200枚）  
アセノール（手指消毒用アルコール）（5缶）  
カットメン（5袋）



国際交流：H28年度英国研修  
ウエストミンスター宮殿にて

規約からでは見えてこない総会の仕組み、時には規約を超えた同窓生の動きが、現在の同窓会総会の活況を生み出している。これも、我が時習館の先輩諸氏の熱意から生み出されたものである。先人の知恵に、いまさらながら驚いている。

### ○ コロナ禍での決断

再び、令和2年の総会中止が規約上どうなのか、どう判断すべきか考えてみた。先人の教えは、同窓会を愛し、その発展のためには、規約を超えてでも実行に移すことの必要性を示唆している。

規約で開催が義務付けられている総会ではあるが、当時、世間では、未知のウイルスに戦々恐々としていた。また、鈴木亜由子激励会での不安渦巻く中での開催に比べ、それよりはるかに厳しい状況下に置かれている。

規約どおりに開催に踏み切るには、想像を超えるリスクが伴う。万一1人でも、感染者が発生したら、60年の同窓会の歴史、栄光が地に落ちる。これは、同窓会の維持にとって耐えられないと思われた。

同窓会の歴史を紐解き、その教訓から、同窓会の維持発展のためには、残念ながら、今は規約よりも、抱えきれそうにも無いリスクを避ける超法規的な決定こそが英断なりと判断した。

これが総会中止の経緯である。

### ※ 卒業25周年・50周年事業（一部）

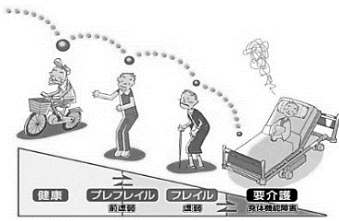
年	25周年事業	50周年事業
昭和49	時1回 記念誌発行	豊25回 植樹
昭和50	時2回 記念誌発行	豊26回 植樹
昭和51	時3回 記念誌、校歌・応援歌 レコード	豊27回 植樹
昭和52	時4回 記念誌、時習文庫、時習文庫目録	豊28年 校旗複製 舞台照明
昭和53	時5回 富女風生句碑建立 荒道子演奏会	豊29回 つじ、サツキ
昭和54	時6回 『時習』新刊誌発行	豊30回 『時習の杜』協力 クス20本
昭和55	時7回 『時習の杜』道風430万	豊31回 ステージ幕一式150万
昭和56	時8回 グランドピアノ 250万	豊32回 記念誌 ナンキンハゼ30本 拓本
昭和59	時11回 国産のびにザン植樹590本	豊35回 国産のびにザン植樹（11回生に協力）
昭和60	時12回 国産のびにザン植樹420本	豊36回 『時習の杜』にびにザン植樹 36本
昭和62	時14回 『時習ダイヤル』寄贈 卒業生6点	豊38回 国産のびにザン植樹 100m
昭和63	時15回 『時習ダイヤル』寄贈 卒業生6点	豊39回 同級生の書・絵を寄贈 6点
平成5	時20回 CDライブラリー	豊44回 記念碑 記念誌
平成6	時21回 庭園灯6基	豊45回 同級生の絵画著書寄贈
平成11	時26回 応援団旗 生徒会活動支援金	時1回 時習館絵巻書セット
平成15	時30回 体育館舞台幕、ステージ壁、天井	時5回 時習基金（時習の泉）
平成18	時33回 記念講演会	時8回 グランドピアノ 調律代基金
平成21	時36回 芝刈り機 リンゴの木	時11回 交換留学事業
平成24	時39回 第2グラウンド照明	時14回 体育館音響設備
平成25	時40回 国際交流助成金	時15回 国際交流助成金
↓	↓	↓
令和2	時47回 国際交流助成金	時22回 国際交流助成金、コロナ対策物品

# 特集記事

## コロナ禍での生活



特集記事



# コロナ禍におけるフレイル予防

～ コロナで要介護者が増えている！ ～



松井 誠一郎（時習 27）

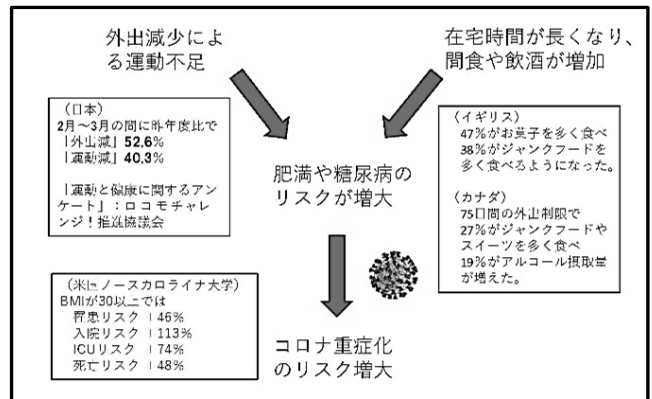
この稿は、令和3年2月18日に神戸市須磨区の医師・介護関係者向けに行った約1時間のWeb講演会の内容をもとに書き下ろしたものです。新型コロナウイルスは、たとえ感染しなくても、様々な角度から私達の健康を蝕んでいます。特に高齢者に対しては、それが介護状態に進んでしまう危険性を孕んでいます。若い人には余り関係がないと思うかもしれませんが、30代～40代の方のご両親はちょうど、そんなリスクを抱えています。本内容には一部専門的な用語も含まれていますが、これを機会に超高齢社会に達した日本のひとつの問題点「フレイル」、そして新型コロナウイルスのそれへの影響について考えてみてはいかがでしょうか。

## ○ 新型コロナウイルスが及ぼす健康への影響

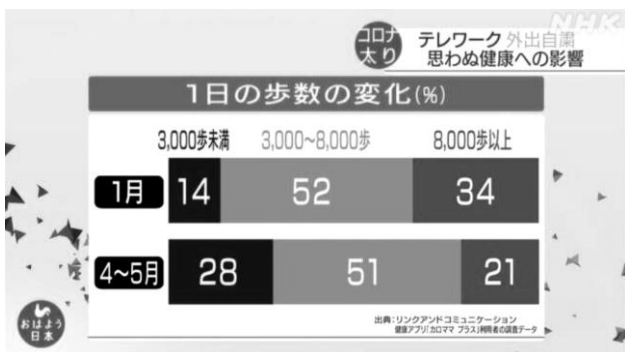
新型コロナウイルスによって様々な活動が制限されていますが、それによる影響を見てみましょう。

まずは、これをご覧ください。令和2年6月2日にNHKで放映されたものです。

令和2年1月に比べて、同年4月から5月にかけては、厚生労働省が推奨している1日8000歩に達していない人が増加して79%にも上っています。これは、健康促進の取り組みを支援している「リンクアンドコミュニケーション」という会社が、健康管理アプリを利用している約2800人について調べたものです。同時に得られた体重と体脂肪率のデータについては、令和2年5月16日の時点で同年1月よりも、**体重が増えた人は57%、体脂肪率が増えた人は60%**に上ったということです。健康管理アプリを利用して健康に気を遣っている人ですらこの状態ですから、一般人はなおさら悪くなっている可能性があります。



在宅、運動不足がリスクを拡大



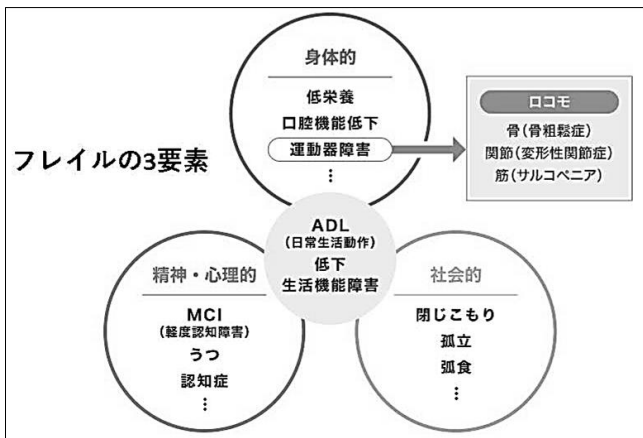
コロナ禍では歩数が著しく軽減

コロナによる外出減少の影響は運動不足だけではありません。在宅時間が長くなり、間食や飲酒が増加したという報告もあります。先程あげたリンクアンドコミュニケーションのデータもそれを示しています。運動不足と食生活の乱れがもとで、肥満や糖尿病のリスクが増大し、これがひいてはコロナ重症化のリスク増大を引き起こします。米国ノースカロライナ大学のデータによる

と BMI が 30 以上の肥満（身長 160cm なら体重が 76.8Kg 以上！このような肥満は日本ではそれほど多くはありません。）においては、新型コロナ感染症による死亡リスクが 48%も増えたというから驚きです。

○ フレイルとは

フレイル (frail) とは、英語で「病弱な、虚弱な」という意味の形容詞ですが、医療介護の世界では「要介護になる前段階で、身体機能や認知機能が低下した状態」を意味します。



フレイルの3大要素

さて、フレイルを引き起こす3つの要素があります。それは「身体的要素」「精神・心理的要素」「社会的要素」の3つです。コロナ禍では、このいずれの要素も悪化をきたし、フレイルになるリスクが増加しています。本稿では、これを順次説明してゆきます。

○ フレイルの「身体的要素」

「身体的要素」は最も表立っていますが、これに関連して、サルコペニア、ロコモティブシンドロームという2つの概念があります。

A. サルコペニア

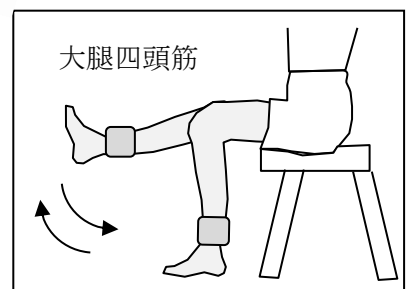
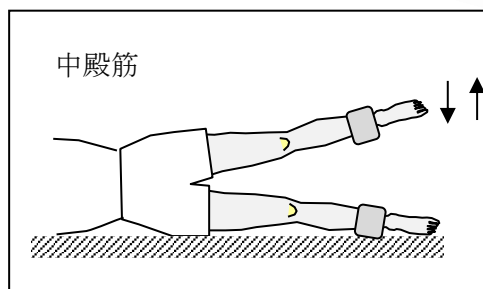
これは筋肉（サルコ）が減った（ペニア）状態のことを言います。放っておくと高齢者では必発であり、それを予防するためにはきちんと栄養を摂取することと、適切な運動が必要です。「適切な運動」とは、「その人の症状に効果のある方法と運動量」ということです。

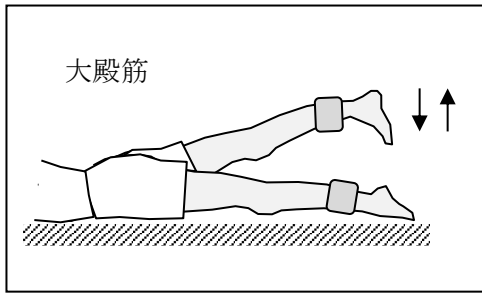
では、その人の症状に合わせた運動というのはどういうものかという、例えば

症状	筋力が低下している筋肉（その働き）
歩くと横にふらふらする	中殿筋（股関節を外に広げる）
つまずきやすい	腸腰筋（太ももを上げる）、前脛骨筋（足首を反らす）など
立ち上がりにくい	大腿四頭筋（膝を伸ばす）、大殿筋（股関節を伸ばす）

筋肉の名前は専門的なので覚えなくても良いですが、こういった運動をすれば良いかを次に示します。それぞれの運動を 10~30 回をワンセットで、一日 2~3 セット行います。

図にはおもりが書いてありますが、高齢者ではおもりは無くてもよいです。





ひとこと断っておきたいのは、高齢者の過剰な運動は筋肉の持続的な疲労を招き、逆効果です。

さて、次は栄養の話です。サルコペニアを防ぐための栄養摂取のポイントを次にまとめてみます。下記表をご参照ください。

＜栄養摂取のポイント＞

- ①健康な 70 歳以上にはタンパク質 男性 60g/日、女性 50g/日が必要。  
特に、分枝鎖アミノ酸と言われるバリン、ロイシン、イソロイシンが重要。
- ②カロリー不足では体のタンパク質が分解されエネルギー産生に使われるので、適切なカロリー摂取が必要。65 歳以上で活動性の低い人では、体重×30Kcal が目安
- ③それ以外に、ビタミンD、ビタミンC、カロテノイドが必要。  
・ビタミン D…筋肉の同化作用を担う（つまり、筋肉をつくるのを助ける）  
ビタミンDはもちろん、骨粗しょう症予防に必須です。  
・ビタミン C…有害なフリーラジカルから筋肉細胞を守る  
・カロテノイド…骨格筋のDNAを傷つける酸化ストレスを軽減する。  
(ビタミンCとカロテノイドは抗酸化作用という、似たような働きです)

なお、口から栄養が取れなくなる原因の一つとして口腔機能低下がありますが、これを「オーラルフレイル」と称して歯科医が予防対策に取り組んでいます。以前、寝たきりの人が噛んで食事を取れるようになってから歩けるようになった、と

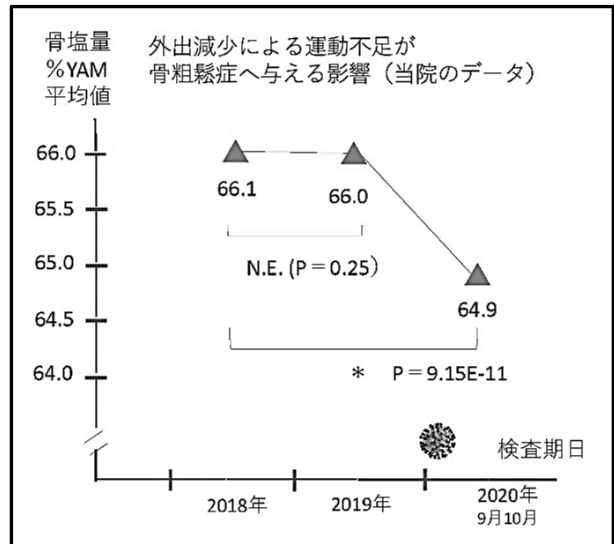
いう実例をテレビで報道していました。これには整形外科医もびっくりです。

B. ロコモティブシンドローム

これは、「運動器の障害のために移動機能の低下をきたした状態」のことを表し、筋肉だけでなく、骨・関節・神経などの障害を含みます。たとえば変形性膝関節症や脊柱管狭窄症による歩行障害などがそれに含まれます。日本整形外科学会では、ロコモティブシンドロームを減らす様々な取り組みを行っています。

＜骨粗鬆症について＞

当院の外来診療の中で、昨年後半から骨塩量の測定結果が悪化している人が多いという印象を受けました。骨塩量が減少した人に話を聞くと、コロナが怖くて外に出てなかった、散歩や運動をしなくなったという人が大勢いました。そこで、骨塩量の減少が実際どの程度みられたのかを調べてみました。

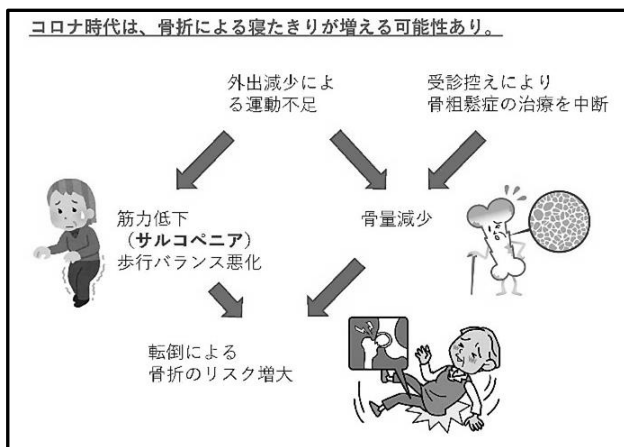


対象は 2020 年 9 月または 10 月に骨塩量を測定した 198 名のうち、2018 年、2019 年にも測定を行っている、つまり骨粗鬆症の治療を継続している女性の骨粗鬆症患者 117 名です。平均年齢は 79.7 歳です。

ご覧のように、2018 年、2019 年の間では骨塩量の変化はほとんど見られなかったのですが、コ

コロナ感染拡大が始まってほぼ半年経過した時点での骨塩量は有意に減少しています。骨粗鬆症の治療を継続しているにも関わらず骨塩量が低下しているということは、コロナにより運動量が減って、その結果骨量減少を招いたと考えて良いでしょう。

このように運動不足は筋肉だけではなく、骨にも影響を与えますから、コロナ禍においては骨折で寝たきりが増える可能性があります。



コロナにより寝たきりになる恐れ

国際骨粗鬆財団（IOF, International Osteoporosis Foundation）はコロナ禍においても骨粗鬆症を悪化させないように声明を出しています。その重要なポイントを抜粋してみます。

（抜粋）

- ・転倒を予防することが重要です：自宅に転倒につながるような障害物がないことを確認しましょう。
- ・医師から処方された骨粗鬆症治療薬の服用を中止しないようにしましょう。
- ・自宅で過ごすように指導されている場合、電話診察を受けることも考えましょう。
- ・電話やメールを利用して、家族や友人と連絡を取り続けましょう。
- ・もしあなたがデノスマブ（プラリア®）を注射している場合は休薬により治療効果がすぐに弱まるため、次回の注射治療を4週間以上遅らせないことが必要です。

この中で特に重要だと思われるのが4番目で、まわりとコミュニケーションを取り続けるということです。これは、フレイルの一つの要因である「社会的要素」を改善する大切なことの一つです。

ところで、コロナ禍でこのようにフレイルの「身体的要素」を悪化させるような事態が、なぜ起こってしまったのでしょうか？それは政府の発した次の一言に原因があります。

「不要不急の外出を控える」

この言葉によって、散歩などの運動習慣をやめてしまった人が多いのです。イギリス政府による命令は「生活必需品の買い物、毎日の運動、医療上の理由、不可欠な仕事のための通勤を除き、外出が禁止される」といったもので、「健康を維持するための毎日の運動」が外出禁止の除外項目として、きちんと明文化されています。日本でも「不要不急の外出は控える」という言葉に加えて「今までしてきた健康の習慣はやめないように」の一言を付け加えて欲しかった。散歩するだけでは、コロナはうつらないのです。

## ○ フレイルの「精神・心理的要素」

優秀なる時習館卒業生にはあまり関係の無い話だと思われるかもしれませんが、まあひとつお読み下さい。

精神・心理的要素には、認知症・MCI（軽度認知障害）だけでなく、鬱などの精神疾患も含まれます。この状態で起こることは2つあります。一つは身体活動の低下、もうひとつは、コミュニケーション減少です。いずれも、コロナ禍ではそれがさらに助長され、症状の悪化につながります。

ここでは、広島大学の共生社会医学講座の石井伸弥教授が行った調査をご紹介します。

全国945施設・介護支援専門員751人のオンライン調査です。それによるとコロナ感染拡大下に

において認知症患者に見られた影響として目立ったのは、認知機能の悪化、BPSD (Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia) の悪化、意欲低下、身体活動量の低下でした。BPSD を訳すと「認知症の行動・心理症状」となりますが、暴言・暴力、昼夜逆転、幻覚・妄想、せん妄、徘徊など、さまざまなものがあります。なお、症状の出方は施設入所と在宅と多少傾向が異なるようです。BPSD は施設入所のほうが悪化しやすいですが、身体活動量・歩行能力などは在宅のほうが低下をきたしやすいようです。また、本アンケートでは、その結果を次のようにまとめています。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対しては長期的な取り組みが必要であり、そのためにはマスクの着用など含めた新しい生活様式への移行が必要であるとされています。

しかし、認知症においては

- ・認知機能低下による情報やサービスへのアクセスが困難。
- ・環境変化への適応の困難さから新しい生活様式の実践が困難。
- ・外出自粛や施設における面会制限などの感染予防のための取り組みにより、身体機能の低下や行動心理症状が増悪。

また

- ・認知症の方が感染した場合には、認知症症状や行動心理症状などのための隔離など、必要な対応が困難であった。

というように、さまざまな問題を生じていました。

認知症を治す治療法はまだありません。認知症を悪化させないということが大切です。それには薬よりも何よりも、認知症の人とコミュニケーションをとり、良い関係性をつくるのが最も有効です。これは単に努力や情熱だけではだめで、科学的根拠に基づいたアプローチが必要です。その方法として「ユマニチュード」とか「パーソンセンタードケア」などが編み出されています。ここでは詳しくは述べませんが、一般向きにわかりや

すく書いた本も出ていますので、これが必要だと感じたら、お読みになって下さい。

## ○ フレイルの「社会的要素」

フレイルにおいて、社会的要素は身体的要素や精神・心理的要素ほどは注目されていないようですが、とても重要です。閉じこもり、孤立、孤食などは、健全な身体活動や精神活動を蝕むものです。コロナ禍においては、この社会的要素が大きく破綻していると言ってよいでしょう。たとえ直接顔をあわせられなくても、Zoom の時習サロンなどは、まさに社会的要素を回復するのにうってつけです。

社会的要素については、ここではあまり詳しくは述べませんが、身近なグループに始まり、地域での活動、行政など、様々なレベルで改善にむけて取り組んでゆかなくてはなりません。

## ○ 最後に

さて、フレイルについて、そして新型コロナウイルス感染症のそれへの影響について様々な問題点を述べました。それでは、いったい我々はどうしたら良いのか？要約すれば、次の3つになります。

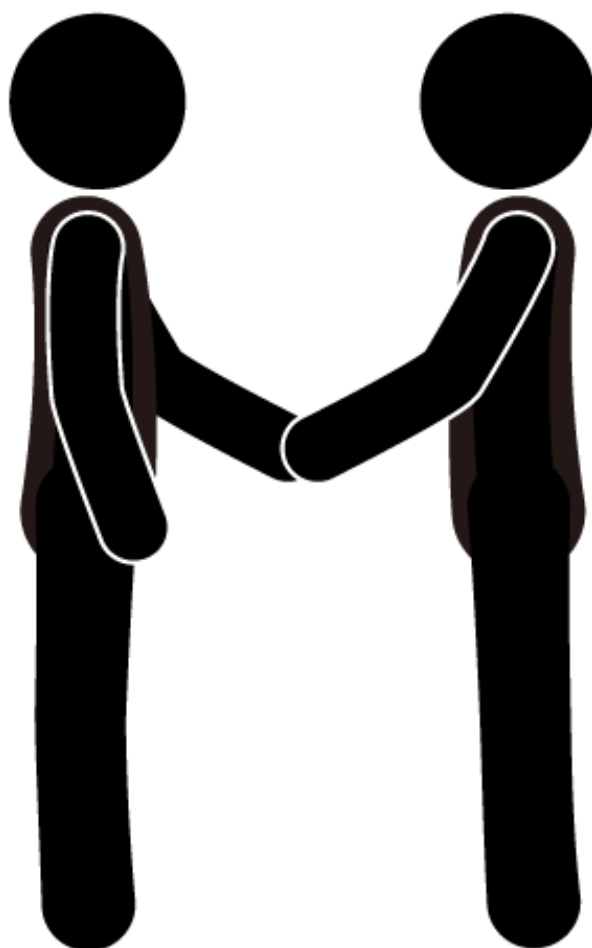
1. 栄養バランスを考えた食事を取る。
2. 適切な運動を行う。
3. 人とのコミュニケーションを大切にする。

これらは当たり前のことですが、コロナの影響でその当たり前のことができなくなっています。でも、そこは工夫でなんとかなるものです。みなさんも、もう一度、このことについて考え直してみたいかがでしょうか。

まずはコロナに感染しないこと、それとともに健康を損ねない日常生活のため、これがその一助になれば幸いです。



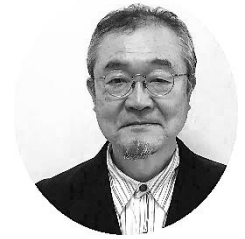
# 特別投稿



特別投稿



俳句と散歩の隠居三昧



東京支部事務局長 真木 康守 (時習 24)

○ 東京支部の事務局長に就任

私が時習館同窓会東京支部の事務局長に就任したのは 2020 年 4 月の役員合同例会（新型コロナウイルスのため書面開催）においてである。

そうなったいきさつは、2013 年の秋ごろ、まったく面識のなかった現・東京支部副支部長の一人である館野眞里子さん(時習 18 回)から突然電話があって、「時習ファミリー」なるものの面倒を見て欲しいという懇切な要請があり、それを断り切れず受諾したことに始まる。

それまで東京支部の活動にほとんど関与したことがなかった私にどうして白羽の矢が立ったのか伺ったところ、「時習ファミリー」の次期の幹事候補（卒業年次による 2 年間の輪番制で 2014 年から 24 回が担当）を探していたところ、館野さんの同級生の奥さんがたまたま私と同級で、彼女から私が推薦されたとのことであった。

○ 東京支部の活動

「時習ファミリー」は、1 年に原則 2 回、見学会を企画して実施するという支部活動で、見学会の終了後には懇親会（飲み会）を行うというものである。東京支部の同好会的な活動はほかに「時習サロン」（ファミリーと同じシステムで講演会を開催）、幹事はファミリーと 1 年ずつずれている「時習館ゴルフ愛好会」、「時習囲碁会」がある。

私が担当した 2 年間に行った「時習ファミリー」の見学会は、東京支部在住の多くの同級生の助けを得て、「江戸東京たてもの園」（東京都小金井市）、「水上から見る東京」（神田川・日本橋川・隅田川・小名木川を川船で周遊）、「葛西臨海水族園」（東京都江戸川区）、「国立歴史民俗博物館」（千葉県佐倉市）の 4 回である。

それぞれ 40 名を超える方々に参加していただくことができた。とくに「水上から見る東京」は好評で参加希望者が多く、当初は船

1 隻を予定していたが、急遽増便して 2 隻となった。



「時習ファミリー」見学会  
葛西臨海水族園



日本最大の臨海公園の観覧車



ファミリー「水上から見る東京」



柱のない「クリスタルビュー」

この「時習ファミリー」の幹事を務めたことが契機となって、その後、年次委員や理事に指名され、昨年からは事務局長を務めることになったのである。

コロナウイルスの蔓延とともに、東京支部の役員会や総会は文書による開催となり、「時習ファミリー」は休止、「時習サロン」は Zoom による講演会に変更するなど支部の活動は大きな制約を受けている。

## ○ 俳句との出会い

俳句を本格的に始めたのは 2011 年、東日本大震災のあった年の 8 月だ。今年で足掛け 10 年になる。東日本大震災直後の日本中に蔓延していた閉塞感から逃れたいという精神状態も影響していたと思う。私は日本建築学会の専務理事兼事務局長として、震災対応に心身ともに疲れ切っていた。

実はその何年か前から、大岡信の朝日新聞のコラム「折々のうた」やいろいろな本を読んで誹諧や俳句は面白いものだと興味を持ち始め、まったく自己流に俳句や川柳を書き留めていた。

ちょうどそのころ、朝日新聞に勤める新宿ゴールデン街の 30 年来の飲み友達が『朝日俳壇』の担当に配転になったと聞いて、「いい先生を紹介しろ」と飲むたびに迫った。数カ月後、彼から私がいま所属する俳句結社「秋麗の会」を紹介してもらい、2011 年 8 月から「秋麗の会」傘下のできたばかりの初心者対象の句会に参加するようになった。

その後、下手の横好きで俳句を続けていたが、昨年、うれしいことが 2 回あった。

ひとつは角川が発行している月刊誌『俳句』の 2020 年 3 月号の特集「『春の』がついた春の季語」に私の次の 1 句が例句として掲載されたことだ。

灯を消して春雷を聞くウヰスキー 康守

もうひとつは角川が 2020 年 12 月発行した『俳句年鑑 2021』の「年代別 2020 年の収

穫—60 代男性」に次の 2 句が掲載されたことだ。

金高騰秋霖ついて売りに行く 康守

壊れつつあるわれと国冷し酒 康守

ちなみに時習館の先輩には富安風生（本名謙次）という大俳人がある。1885 年（明治 18 年）、現在の豊川市一宮町に生まれ、1903 年（明治 36 年）に愛知県立第四中学校（現時習館高校）を卒業、その後一高、東京帝大を経て通信省に就職。俳句は高浜虚子に師事し、16 冊の句集を出している。1971 年に日本芸術院賞を受賞し、1974 年には日本芸術院会員となっている。温和な作風で知られている。



富安風生句碑

『湖浮び 芒に沈む 荘の屋根』  
(山中湖村・文学の森)

インターネット「ウィキペディア」より

## ○ コロナ禍での暮らし

仕事をしていた間は月 1 回の句会で満足していたが、定年の半年前（2018 年 1 月）に、急性心不全で心臓にステントを 2 個入れたことを奇貨として定年後は再就職をしないで隠居生活に入ることにした。

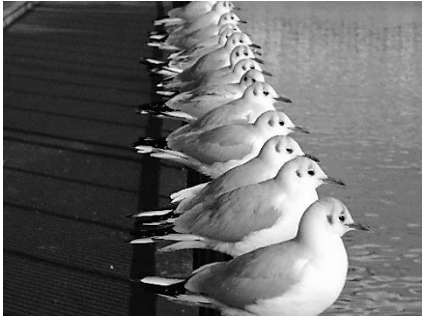
隠居する心の弾み梅の花 康守

それからは複数のいろいろな句会に参加して俳句三昧の生活を満喫するようになった。家の中にいるばかりでは俳句はできないから、吟行と称してあちこちにしょっちゅう出歩くようになった。

しかし、そんな生活は長くは続かず、昨年の冬から、コロナウイルスの蔓延によって集まって顔を合わせての句会は中止となり、メールや Zoom による句会になった。また不要不急の外出は控えるようにとのお達しも出されたので、近所で買物をするか散歩をするほかはほとんど外出しないようになった。昨年 4 月から 6 月までの間でちょうど 80 日間一度も電車・バスに乗らずに暮らしたこともあった。

**○ 散歩の楽しみ**

私の住んでいる東京都江戸川区清新町というところは戦後の埋立地で、荒川の堤防沿いに 2km ほど南に歩けば東京湾の荒川河口に出る。ここら辺り一帯は葛西臨海公園という広大な公園で、園内には東京オリンピックのために新たに建設されたカヌースラローム会場、日本最大の観覧車、世界的建築家の谷口吉生の設計した葛西臨海水族園（建て替えの噂がある）とクリスタルビュー（展望施設）



**ユリカモメ**

が建っている。公園の東側は鳥類園になっていて、そこからは旧江戸川を挟んで東京ディズニーリゾートが見える。

鳥類園にはウォッチングセンターがあって、鳥類園で観察することのできる実に多くの種類の鳥の写真パネルが掲示されている。私は鳥類園で実物のオオタカを見たことがあるが、そのほかの珍しい鳥にはあまりお目にかかれてはいない。

私の住む団地のすぐ南には、荒川と旧江戸川を東西に結ぶ新左近川という川があって、ふだんはこの川の岸辺を散歩をしている。この川には個体数は多くないが、さしも珍しくはないけれどもいろいろな種類の水辺の鳥を見ることができ、ささやかな私の楽しみとなっている。カモ類ではカルガモ、オナガガモ、スズガモ、キンクロハジロ、コガモ、サギ類ではダイサギ、チュウサギ、コサギ、アオサギ、ゴイサギ、そのほかカイツブリ、オオバン、カワウ、ハクセキレイ、カワセミ、ユリカモメを確認している。

いつも妻といっしょに散歩しているので、妻も鳥の名前をだいぶ覚えた。写真を添付するので、皆さんも、どこかの水辺で鳥を見かけたら、この写真を思い出してください。



**アオサギ**



**オオバン**



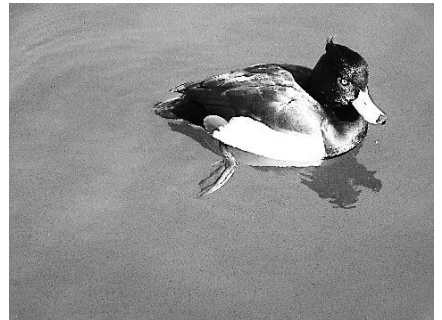
**オナガガモ**



**カイツブリ**



**カワセミ**



**キンクロハジロ**



**ゴイサギ（幼鳥）**



**コガモ**



**スズガモ**

**特別寄稿**

## 私の中の三河人



前田 充康（時習 18）



### ○ はじめに

#### 三河人のDNAを熱く語ろう

昨年3月から11月まで続いた国民的作曲家古関裕而氏と妻金子さんがモデルとなったNHK連続テレビ小説「エール」では、我が故郷三河の山や海が見られ、毎朝、テレビにかじりついていました。金子さんは生まれも育ちも豊橋で、豊橋での場面では三河弁もふんだんに聞くことができました。

先般、高校時代、同じクラスで、さらに同じ誕生日でもある熊谷君と久しぶりに神戸で会った折り、「エール」に関連して我々のルーツである三河人の話になりました。我々は故郷を離れて、体に流れる三河人をどのように意識してきたのだろうか、コロナ禍で閉塞感の漂うこの時期、我らの元気の源である三河人のDNAをもう一度熱く語る時ではないか、そんな話をしているうちに新聞記者の経歴をもつ熊谷君の達者な口車に載せられて、東京に出稼ぎに出た私の三河人としての体験談を書くように説き伏せられてしまいました。

自分自身、三河人を普段それほど強く意識して生活してきたわけではないのですが、自分の今までの体験をもとに仕事や生活の中で三河人をどのように意識してきたか、また三河人に生まれてよかったと思った点など振り返ってみたいと思います。

なお本稿中の「三河人」は厳密な地政学的定義に基づくものではなく、大雑把に愛知県の東部に位置する地域に住む一般に三河人と言われる、ま

たはそう思っている人々を指していますので、ご容赦ください。

### ○ お天道様のありがたさ

#### 雪国で気づいた三河人

私は仕事の関係で東京のほか、雪国の新潟県に2年間、勤務したことがあります。そこで三河との違いを決定的に実感させられました。それは太陽の照る日数が圧倒的に違うということです。

三河では太陽はお日様、お天道様と言って、常に眩しく私たちの頭上で燦燦と輝いてくれます。

ところが、新潟では12月くらいから2月ごろまで雪雲が深く垂れ込め、太陽を拝むことがほとんどできなくなります。雪は一冬に優に10㎝以上も降る上越の魚沼から、よく降っても1㎝程度の下越の新潟市内まで降雪量のバリエーションはありますが、とにかく冬は基本的に銀世界。雪は三河人にとっては偶に降る天からのプレゼント的なニュアンスがありますが、雪国では雪のもたらす災害、生活への不便等々、雪への怨念があり、雪に立ち向かっていく「克雪」という言葉がキーワード。この雪に対する基本的な認識を間違えると「この人、雪国の人間の気持ちが全く分かっていない！」と仕事も付き合いも、うまくいかなくなります。それで東京から転勤して行って失敗した人も実際かなり多くいらっしゃるようです。

雪国では雪は怨念。三河はお日様、お天道様いっぱいの幸せ。三河人の明るく楽天的な性格は、

多分、いつも燦爛と輝いているお天道様のお陰であらうと強く感じました。

## ○ 謙譲の美德だけではダメ

### フランスで気づいた三河人

パリにあるOECD（経済協力開発機構）に1979年から1981年までの2年間勤務する機会がありました。

在外生活においては、自分が三河人であることを感じる場面に多く出くわしました。三河人は積極的には自己主張せず、比較的、聞き役に回って座の円滑な進行役をする傾向があると思います。当時24加盟国のOECDでは、24カ国の人々がスタッフとして働いていました。そこでは「沈黙は金」ではなく、自分の考えをともかく声に出して発言することから始まります。皆が黙っている人に気を遣ってくれることは全くありません。まず言葉を発する、行動を起こすということから物事は始まるという現実にもぶち当たりました。国際社会では、三河人の美德と言われる「謙譲」のままでは仕事上、生き残る上ではマイナスに働くということです。そこで自分の性格も次第に「物事をはっきりと言う」積極性を三河人の謙譲の美德の上にくっつけるようになっていきました。

また、YESとNOの発言の重さにも気づきました。日本では相手のメンツや社交的な見地から、一応、YES（ハイ）と言っておいて、あとで、BUT（しかし）と条件を付けていくことが多いように思いますが、契約社会である外国においては冒頭のYESとNOの発言の持つ意味合いが極めて重要な要素であることが仕事上でも日常生活上でも強く感じさせられました。特にフランス人とは何事につけ、自分の考えをしっかりと主張するということが大事です。まず自分から主張しなければ無であるという現実にも常に直面することにより、自分が次第に自己主張する戦う三河人に変貌していったのをよく覚えています。

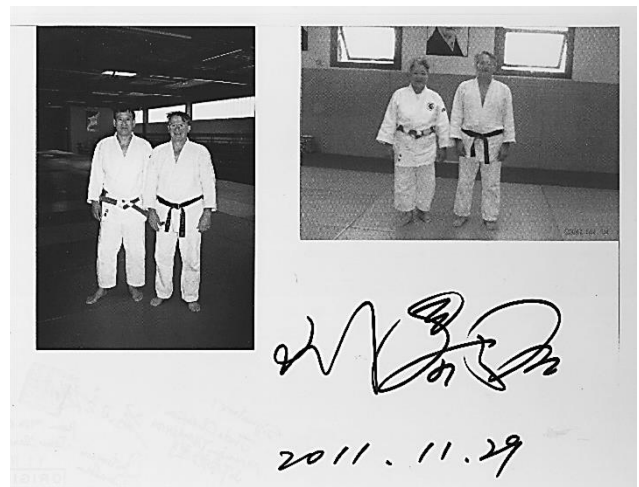
三河人は「一期一会」の人間関係を大事にしますが、在外勤務中に多くの外国の友人たちができました。その中でも嘉納治五郎先生の写真が掲げ

てあるOECD柔道クラブと一緒に柔道に汗を流した友人たちとは、40年以上たった今でも親しくクリスマスカードなど交換しています。これも



OECD 柔道クラブ（1979年）（筆者：右端）

た三河人に流れる「一期一会」の考え方のお陰と感謝しています。そんなことから、帰国して大分経っていましたが、柔道師範であったジャンクロード五段の古希の誕生日に、彼の柔道着姿の写真に世界チャンピオンの山下泰裕選手にサインを書いてもらい、それを彼にプレゼントして大喜びしてくれたことも懐かしい思い出です。



山下泰裕選手のサインが入った  
ジャンクロード師範（右側）の写真

## ○ 明るく楽天的な性格

### 関西の会社で気づいた三河人

ちょうど還暦60歳の時に、現在の会社に勤め始めました。早いもので、もう13年になります。会社はビルの総合管理会社で全国展開していますが、出自は神戸で創業して現在までに55年経ち、兵庫県の西宮が本店の純然たる関西系の会社



2016年2月、会員の対象を東三河地域全体に拡大することにより「ほの国東三河応援倶楽部」となっています。

毎年2月ごろ、会員全員を対象とした総会が開催されます。その折には、もちろん、懐かしい三



ほの国東三河応援倶楽部総会の風景

河弁も言葉の端々に使われ、郷土の発展ぶりのスライドが投影されたりして、すっかり三河人ムードいっぱいです。こうした交流会に皆が集う理由はいろいろあるわけですが、最大の吸引力は三河の美味しく豊富な食材を使った料理です！会場はホテルの大広間ですが、三河の新鮮な肉や魚、



豊橋のどうまい農業王国のポスターと野菜・果物

卵、野菜、果物などを使って調理された美味しい料理や地元のお酒などが会合に参加する三河人の胃袋を楽しませてくれます。地元のお酒やワイン、ジュースなど片手に話が盛り上がるのも、三河の食材の美味しさが参加者の皆様の大きな楽しみになっています。このように三河平野の肥沃な土地と恵み豊かな三河湾、そして山の幸に恵まれ、美味しい食材をいただき、伸び伸び、すくすくと育ててこられたのが三河人の明るく鷹揚な性格形成に大きく影響しているのではないかと改めて有難く感謝の念を深くしております。

## ○ 穏やかな気性、人にやさしい配慮 三河人のサービス精神

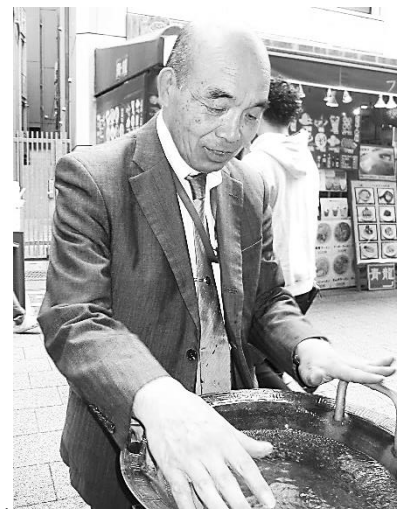
自分は趣味で手品を始めて20年ほどになります。手品クラブに入り、毎月、定例の勉強会に参加して、お互い手品を披露し合っ、見せ方を研究したりレパートリーを広げたりしています。発表の場としては、ボランティア活動として介護施設への訪問演技や児童館や子ども会、近所のお祭りなどにも積極的にクラブの仲間と一緒に参加しています。同窓会や職場の余興などの時に、楽しい雰囲気を盛り上げる、所謂「宴会要員」的な



手品演技中の筆者

ご要望にも積極的にお応えするようにしています。とにかく手品は現象の変化を理屈は抜きに、老若男女、国籍関係なく誰もが楽しめますので、大変楽しいです。

三河人は明るくて開放的などころがあり、気性も穏やかで、人にやさしい配慮をするサービス精神を持っている人が多いと思います。自分も三河人のひとりとして、人が喜んでくれることをするのが好きです。その意味で手品を学び始



これもマジック？  
コロナ禍の前、取っ手をこすると張った水が噴き出す「不思議な鍋」に真剣な表情で挑戦する筆者＝2017年6月22日、神戸・南京街

めて、良かったです。手品は実際に皆様の前でやるのが大事なことです。皆さんも自分も楽しくなるからです。私の手品はミスター・マリックさんの超魔術のようなものではなく、ほんわかムードのマギー司郎さん系です。そんな訳で、ご高齢の方からお子様まで、幅広く、楽しんでもらえて、本当にうれしい限りです。

こうした手品を通して、皆様に楽しんでもらえることに喜びを感じるのも「三河人のサービス精神」の血が私の中に流れているからではないかと勝手に考えて、皆様の喜ぶ笑顔を楽しみに、せっせと手品の練習にいそしんでいます。

## ○ まとめ

### 質実剛健の血が脈々と

三河には自然がいっぱい。豊川、吉田城、本宮山、岩屋観音、三河湾、黒潮洗う太平洋岸等々、明るい太陽のもと、清々しく美しい景色が眼前に広がります。

歴史的には織田信長、豊臣秀吉のあと、戦国の世を最終的にまとめ上げた徳川家康のホームグラウンドで、天下統一への歴史のロマンを感じさせる土地柄。

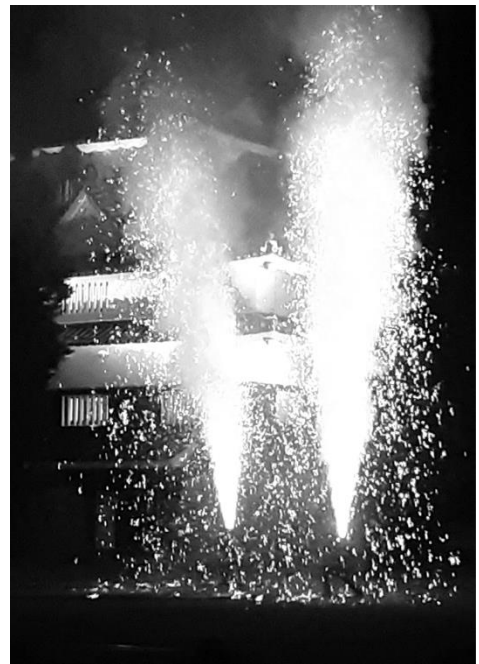
また近年における郷土三河の近代的産業の発展には目を見張るものがあります。三河港は今や国内外の多くの自動車メーカーの基幹港とされ、完成自動車の輸入に関しては、金額、台数ともに全国第1位、輸出に関しては金額、台数ともに第2位です。

ハイテク産業の工場もどんどん新設されています。最先端技術の研究を行う国立の豊橋技術科学大学も1976年に設立されて久しいです。

三河人は温暖な気候風土、風光明媚に恵まれ、気性も穏やかですが、心の奥底には質実剛健の血

が脈々と流れています。うわべだけでなく本質をしっかりと見極め、柔軟に大きく発展させていく力を内包しています。これこそ我ら三河人の誇るべき素晴らしいDNAではないでしょうか！

私は最近、とみに、こうした三河人の飾らず、誰に対しても笑顔で接し、世の皮相に迎合せず、質実剛健の精神で頑張る性格が益々好きになっていま



吉田城をバックにした炎が勢いよく夜空を焦がす。炎と一体化した手筒花火師の、心に秘めた三河人の質実剛健の血が騒ぐ瞬間だ【豊橋市首都圏活動センター提供】

す。現在、コロナ禍で、ややもすれば人間不信や閉じこもりがちな世相。そうした状況を打破するためにも、天に輝くお天道様に感謝しつつ、毎日を誰とでも明るく楽しく笑顔一杯に頑張っていく三河人のポジティブな性格は、極めて貴重であると強く感じています。何事をなすにも、まず明るく希望を持つことが大切。コロナ禍の閉塞感を突き破るためにも、今こそ、我ら三河人は、三河人のよきDNAを再認識し、それを活かして、世のため、人のために大いにお役に立つべき時ではないでしょうか。

ビバ三河人！コロナの暗雲を吹き飛ばすべく、皆様、ご一緒に頑張りましょう！！

#### 前田充康 (まえだ・みつやす) 略歴

1947年7月16日豊橋市生まれ。福岡小学校、南部中学校、時習館高校(第18回)。東京大学法学部を卒業後、現在の厚生労働省に入省。東京の本省のほか新潟、仙台等で勤務。また在外勤務としてフランス、ベルギーに合わせて5年間滞在。厚生労働省第27代労働研修所長を務めたあと、2008年から現在まで、ビル総合管理会社「日本管財株式会社」(本社・東京、本店・西宮)顧問として勤務している。学生時代のクラブ活動として高校時代は陸上部、大学時代は柔道部。趣味は手品、俳句、囲碁、スポーツ全般。著書に『EC統合と労働問題』『EU拡大と労働問題』等。

## 真の三河人とは？

### 第二の故郷に架ける橋

編集部

東京の前田充康さんの「三河人愛」にあふれた文章を読んで皆さん何をお感じになりましたか。

ふるさと三河を離れて半世紀以上、という関西支部の会員の方も多いことでしょう。ふだんは現在のホームグラウンドに溶け込んで「三河人」であるという意識はほとんど持たれず行動されておられるのではないのでしょうか。しかし、『時習館かんさい』を編集しておりますと、このコロナ禍の中だからこそ「自分のルーツは？」「自分は何者？」とじっくり考え直される方も結構多いように感じます。

前田さんは編集部からの執筆要請に対して当初はかなり渋っておられました。そりゃそうでしょう。だれでも腰が引けるちょっと重いテーマです。出来れば逃げたい。これが本音だったと思います。それでも2カ月間、よく辛抱して『時習館かんさい』5ページ分の原稿を書き上げ、文の内容に合うような写真もいろいろ探してくれました。具体的エピソード満載で興味深い読み物になったのではないのでしょうか。

今回の随想『私の中の三河人』が次第に固まってくるのと並行して前田さんはご自分が書かれた「三河人」を第三者として客観的に眺めることができるようになったと感じられたようです。

前田さんは言われます。「私は東京を基点に暮らしてきましたが、どうも、ずっと三河人であったし、自分なりにプライドを持って、三河の特色である愚直さを軸に生きてきたように思っています。要領は元々そんなによい方ではないですが、右顧左眄したりせず、気持ちの上では質実剛健を意識して自分なりの筋は曲げなかったように思っています。ゴマをすったり、おベ

つかをつかったりしませんでしたから、少しは損をしたかも知れませんが、現時点において精神的に負の遺産を引きずっていないので、毎日ぐっすり、充実した睡眠を取り、爽快な目覚めを迎えています」。

「より理想的な真の三河人とは何か」が現在の前田さんにとって大きなテーマとして浮上してきたようです。『心の形』ということを最近、考えるようになっていきます。日本人がずっと大事にしてきた心のありようが、最近では、あまりはっきりと見えなくなってきてしまい、芯棒なき人生行路になってしまったのは実に心もとないですね。人それぞれが肩の力を抜き自然体で個性豊かに生きていけるとよいな、と思っています。

幼いころ、祖母らから『良いことも悪いこともみんなお天道様がみているよ』と言われていたりしたことも記憶にあります。三河人の誠心誠意、質実剛健の気風は、声高には言いませんが、よき人生を送る上では、素晴らしい郷土からの贈り物のように思え、感謝の念で一杯です」。

最後に前田さんから関西支部の皆さんにメッセージ。「三河人を書かさせていただきましたので、このところ、俄然、関係の書籍を拾い読みしています。歴史の重みをずっしりと感じて、私の中の三河人の血が騒いでおります」。皆さんはいかがですか？

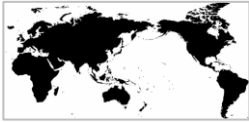


# 会員便り

コロナ禍での  
コロナ禍での  
生活



会員だより



スリングな我が航海誌（その5）



成田 一郎（時習 10）

M. V. ABDELMOUMEN  
2,749.303 G/T

寄港地一覧表

	Country	Lat.	Long.	
郵船本社、成田空港				
① Panama city	Panama	8-56' N	79-36' W	船長と二等機関士2名交代し配乗終了予定、空路パナマ・タボガ島へ
② Balboa (Panama city)	Panama			1988/8/2早朝ホテル仮眠、フェリーでTaboga島へ、ボートで船へ
③ Isla Taboga	Panama			
④ Panama canal	Panama	48miles=77km		1988/8/2錨地で乗船（マグロ満載）、観光地
⑤ Cristobal=Colon	Panama	9-19' N	79-55' W	太平洋（Balboa）⇒ガツン湖（標高26m）⇒（Cristobal）カリブ海
⑥ Mona Passage				Pilot下船、通過、カリブ海、大西洋へ
⑦ San Juan	Puerto Rico (U.S.A)	18-26' N	66-04' W	通過 Dom. Rep./Puerto Rico間
⑧ Douarnenez	France	48-05' N	4-20' W	Puerto Rico 寄港せず、Franceへ直航、Short bunker危機
⑨ Concarneau	France	47-53' N	3-55' W	船尾岸壁接触、揚荷、食糧45日分到着
⑩ Vilagracia de Arousa	Spain	42-36' N	8-45' W	揚荷
⑪ Ceuta	Spain	35-53' N	5-20' W	揚荷 フィルター購入、山裾でオバチャンに帰り道を教わる
⑫ Genova=Genoa	Italy	44-25' N	8-56' E	補油、山頂の広場で可愛いスペイン娘と子供達
⑬ Gibraltar	U.K.			マグロ揚荷完了、空船となる、船艙洗浄開始
⑭ Casablanca	Morocco	33-35' N	7-34' W	入渠、ユーゴ船員と交替、1988/10/19下船空路Casablancaへ
⑮ Madrid	Spain	40-26' N	3-40' W	下船時宿泊、船主本社訪問、ホテルで夕食（船主手配）
⑯ Amsterdam	Netherlands	52-23' N	4-54' E	帰国時飛行機乗換、手荷物は成田へ別送
成田空港、郵船本社				帰路ホテル泊、飾窓 社員5人無事帰国、有給休暇（C/Oは両親死亡、特別休暇）



○ Oh! Gypsy Navigation

時習館 10 回生、男の平均寿命に達し後期高齢者というより晩期高齢者となりました。このコロナ禍の中、のんびりした日常、思い出すのはあの赫灼とした時のこと。

今回は 1/3 世紀前に、社員が乗りたがらない Morocco の冷凍貨物運搬船 A 号に Panama で乗船した時のことを思い起こし、徒然なるままに記載することとした。

A 号は総トン数 2,749.03 トン（日本で国内輸送用として建造、中古で Morocco へ売却）

船主：モロッコ、カサブランカ市に本社（船の保守・管理はドイツの会社に委託）

傭船者：フランス大手漁業会社

乗組員：日本人職員人 5 名とモロッコ船員との混乗

乗組員構成表

国籍 任務	日本人職員 5名	モロッコ人職員 3名	モロッコ 人
甲板関係	船長 一等航海士	二等航海士 三等航海士	甲板部員
機関関係	機関長 一等機関士 二等機関士	三等機関士	機関部員
その他		通信士	コック

○ 乗船準備

会社（日本郵船＝N.Y.K.Line）では Africa Morocco の船会社の船舶 3 隻に Morocco 船員と混乗させていた。2 隻は標準的な貨物船であったがこの内の 1 隻“A 号”は冷凍貨物運搬船で設備は貧弱ながらフランスの大手漁業会社に備船されていた。私（船長）と二等機関士が Panama で交代乗船することとなり、会社からの注意として「A 号はうまくいかないで配乗契約終了を検討している。乗船したらそのつもりで準備を進めるように」との指示、誰も乗りたがらない船への最後の乗船者二人である。

成田から空路 Panama まで機内での会話は少なく、“酷い船で、乗船中の連中は頼りにならないようだ。配乗替え手仕舞いを託されたのだから何とか頑張ろう”という結論で深夜に①Panama に着いた。タクシーで市内のホテルへ、4 時間ほど仮眠してから ferry で乗船地③Taboga 島へ渡る。

Ferry では大勢の観光客が楽しそうにしていたが二人は寝不足と島に着いてからの予定が判らないので落ち着かない。島の船着場の沖には真っ白な船が錨泊していた。

眠いし腹は空くし、ホテルで何か食べようかと思案していると波打ち際にボートが寄って来て「Captain?」との声がした。これが迎えの者だと判明。船に着くと舷門で船長が待っていた。何と

なくイヤな予感。案の定「明日の飛行機で帰国するので、今日最終の ferry に乗るから引き継ぎを急ごう」とのこと。昼食のパンとコーヒーを済ませ船長室で引き継ぎを開始した。狭い部屋で机の下の小型金庫はダイヤル部分が叩き壊されて使用不能とのことで、bath は 1m 四方ほどのシャワーがあるのみ！日本沿岸航海用に建造されたセコハンの船だ。これにマグロを満載し、Panama 運河を通過して欧州へ行けとのこと。傭船者の積荷責任者 C 氏が来船「明日からマグロを積んだ漁船が何隻か到着・接舷するが、ここは潮流が強いので荷役に不向き。漁船が到着する前に錨地をもう少し岸に近い場所に移しておいてくれ。他社の冷凍船で欧州に着いたら積荷が解凍していた big trouble が 2 件発生している。本船では十分注意してくれ」との指示。

翌朝転錨を開始するが操舵号令は英語だろうが技能は不明。Engine の Astern（後進）のかかり具合も判らないし、適切な縮尺の海図も無いので水深の詳細も不明。周囲の状況から推測して満載・干潮時に座礁しないだろうと考えられる地点まで岸に近づける。

「勘と運」任せの生活開始となった。

## ○ 出港へ向けて

朝 C 氏から苦言、「機関長には積荷前に冷凍機を full power にしておけ、と言ってあるのに出力は 80% くらいだ。これでは積荷中に魚が溶けてしてしまう」とのことである。C 氏は航海士と機関士両方の海技免状を所有しており、A 号の冷凍設備を案内せずとも自ら船内を見回って crew に話しかけている。機関部員は日本人機関士のカタコトの英語よりも C 氏の言うことの方が理解できているようにさえ感じられた。機関部の人員構成がまずい。機関士 4 人のうち三機士だけが Morocco 人で孤立気味、言葉が通じにくいので複雑な整備作業は日本人 3 人で対処しているようで、部員を効率よく就労させていない。アキラメと疲労感が感じられた。

甲板関係は一航士がうまくやっていた。休憩時には mess room の汚れたテーブルに直に置いた食パンを sailor と頬張りながら仲良くチェスをしていた。

機関長に冷凍機の調子を確認すると「パイプの一部から冷媒が漏れている。機器は老朽化している修理・整備をしているが現状維持が精一杯だ」と言う。

ここで C 氏から次のパンチ（言葉）を浴びせられた。「船長の交代は急だったと思う。前任の船長からの連絡では積荷可能性があまりにも少なかったので船主に対して Official message で船長の交代を要求した」とのことである。前任船長も気の毒に、船の状態を考慮して積載可能性を報（しら）せたのであろうが、引き継いだからには契約履行に尽力するしかない。満載する冷凍マグロが解凍したら莫大な損失になる。これは一大事！！Casablanca (Morocco) の本社と船舶管理を受け持つドイツの会社に現状を詳しく打電。大至急技師の派遣と冷媒等の補充を要請した。

C 氏には傭船契約の積載能力となるよう直ちに対策するので、できるだけ Off hire（契約不履行・傭船料カット）を避けるよう協力を依頼する。

ドイツからの技師の派遣は極めて迅速であった。以前本船に乗船した経験があり、たまたま米国西岸の大学に留学中の娘さんに会いに行く準備をしていたところだったので、急遽行先を変えて本船に向かってくれたとのことである。

技師を舷門で出迎え mess room へ案内した。たまたま機関部が Tea time だったので機関長がコーヒーを勧めたが、タイミングが悪かった。冷凍機の点検が先だと機関室へ向かう。冷凍能力の不足がいかにか深刻な問題か A 号の crew が理解していないという印象を与えかねないと思ったからである。

## ○ 積荷開始

錨地の Shift を完了するや直ちに漁船が接舷し、積荷を開始した。A 号・漁船両船の船艙内には熱帯 8 月の太陽が容赦なく照りつける。一航士は荷役で食事もまともに摂れないようだ。Deck 上でホースを引っ張っているので尋ねると「ポンプが不調なので飲料水の出が悪い。他のタンクの水を移している」とのこと。日本人 5 人はペットボトルの水を飲んでいるが、Morocco crew は紫外線殺菌器を通した水を飲んでいる。C 氏は本船泊まり込みとなった。マグロに関することには厳しいが、船内の処遇については不満を漏らさず、イスラム食も抵抗なく食し、出航前下船時には「食事は質・量ともに十分提供された」という書類に快くサインをくれた。

8 月は雨期でスコールの最盛期、マグロを濡らしたら一大事である。艙内温度が上がり始めた。雲行きが怪しいので、C 氏に「スコールが来そうだから荷役を中断して hatch を閉めよう」と提案

するが、この漁船の荷は残り少しだから空にして早く漁場に行かせたいと主張する。漁船は降雨となれば直ぐに動力で hatch をカバーできるが、我が A 号は人力で閉鎖に時間がかかる。説得して荷役を中断して hatch を閉鎖した。この間を利用して艙内温度を下げる。

「積荷のマグロの状況は毎日観てくれ。商品であるので乗組員が食べていると誤解されないように気を付けてくれ」との達しである。毎日検品して刺身が食える。何処かで醤油とワサビを手に入れなくてはと思ったが、直ぐにその必要がないと判明した。期待した味とは全く違ってまずい。France、Spain、Italy で好みが異なるので揚げる魚種を間違えたり、混ぜたりしないようにとの注意があったが、どのマグロも刺身には不向きな品であった。

積荷作業で甲・機部は忙しいが、通信士とコックは暇をみては島へ出かけて行く。甲板長に「彼等は何しに行くのか」と尋ねると「観光に来ているミーハーとデートだろう。船の缶詰を持ち出しているかも知れない」とのこと。通信士はハンサムで、流暢ではないが英語・フランス語・スペイン語も話せるので甲板長の推測が当たっていると思われた。海岸や林で朝まで過ごす者が多くいるらしい。

そこで、食糧庫の缶詰をきちんと並べて触れると判るようにした。2 人は相当なワルのようだ。コックはいつも大きなナイフを持っているので要注意と crew が教えてくれた。

## ○ ④Panama Canal 通過

Taboga 島から②Balboa 港錨地へ移動して Panama 運河の pilot 乗船。Panama canal は太平洋水面から 2 つの閘門を経て水面標高 26m の Gatun 湖水面まで登り山越えする。航行中に湖の淡水を使用して Deck を洗浄、3 つの閘門を下って大西洋 Caribbean sea に望む⑤Cristobal へ。運河の航程は 48miles (77km)。閘門では船の両舷・前後に牽引用の機関車を繋ぐので甲板部は休む間がない。ちなみに、ここの機関車は made in Japan である。

Cristobal は過去に何回も寄港した港で、昔はパナマ人形やワニの剥製を土産に買ったり安いバナナを買ったりしたが、今回は寄港せず pilot を下船させた。荷役、運河通航と休む暇なしであったが、ここから通常の航海当直就労となり、ドミニカ共和国とプエルトリコの間の⑥Mona passage

に向かう。

防波堤の外に出ると船が小さいためか外洋のウネリで船首が左右に大きく振れる。自動操舵の方が信頼できそうなので早々に自動に切り替える。

海図が購入できなかった Puerto Rico への寄港はキャンセルとなりホッとするも、手持ちの資料では直航を指示されたフランスの港は水深が浅く入港は困難。燃料もギリギリだ。減速すればたどり着けるが航海日数が長引けば冷凍機用の燃料が危うい。積荷の時の責任者 C 氏は大西洋に「自社の漁船が多数展開している。ヘリコプター搭載の母船もいるので非常の場合は緊急対応する。洋上での燃料補給も可能」と言っていたが、荒天の場合は 2 船が接舷して補油をするには危険を伴う。

日本であれば航行中に燃料切れ漂流となれば海難審判に掛かる可能性あるが、大規模漁業会社の Business 感覚は我々商船乗りとは異なるようだ。

Mona passage 通過、会社の西回り一周航路では気軽に通過したがこの船では二・三航士の当直時間帯は気象・航行船に注意が必要で休まる暇がない。

行先変更の電報受信、最初の揚荷港は⑧ Douarnenez (ドゥアルヌネ、France)と決定。同港着岸時に後進速度が強すぎて船尾が岸壁と接触、接岸後に損傷チェックしたら船尾操舵機室に直径 15cm 程の穴が空いていて、ポッカリ青空が見える。水先約款で pilot に責任を負わすのは無理である。Damage には保険処理等をすべきであるが、船尾から大波を受けなければ浸水の恐れはないので、出航後に鉄板を溶接することとした。

Douarnenez の海岸沿いには美しい遊歩道があって観光客も多い。純白 2,749 トン A 号着岸の雄姿? が Local 紙の一面に報道された。入港手続きを終了するや揚荷を開始した。積荷の際 C 氏が「揚地で税関手続きに必要な他、積荷については外部に漏らすな」と言っていたのが理解できた。ライバル社か Buyer らしい輩が岸壁で揚荷の様子を観ている。市場価格に影響するので魚種や移送先を探っているようだ。着岸後燃料補給も無事完了したが食糧補給が一苦勞。船主手配の食糧がトラックで到着したが、食品は Halal food (イスラム食)であり、産地から食卓まで戒律に従っていて、豚・アルコール等日本人が期待する品はない。オヤツは船長が販売していたが、高価な品はなく駄菓子の類で我慢していた。Morocco の小銭で払ってくれるのでこれが貯まり船用金の収入として記帳するが金庫が使えず、やむなく引き出しに入れておく。

乗組員総員で船内に搬入するが食品名はフランス語で記載されているので Receipt には適当にサインした。食糧は 45 日分と記載されており Daily の消費量を適切にしないといけないので主要食品のリストを作成するがコックが適切な消費量の計算ができない。例えば骨付き肉の肉部分を切り取って 1 日分を秤に乗せている。これでは 1 カ月後には肉なしの骨だけを食べることになってしまう。

食糧庫は Defrost 不良で door の隙間が氷結して密閉できないので、在庫品を取り出したら奥にはいつ補給したか判らない品が、氷の塊となって壁にへばりついている。前任船長は点検しなかったのか？ 機関長は食糧庫の冷凍機能に関心がなかったのか？ ケ・セラ・セラで過ごしていたのか？

食糧庫に収まらない食糧一部を貨物艙に入れることとした。乗組員に特別に手当を払う約束で運び込むが、荷役作業員に食べられては一大事、そこで夜陰に紛れて岸壁の倉庫前に置いてあるベニヤ板等を少々失敬して、艙内の食糧と貨物のマグロとの間に仕切りを設けた。

気分転換に散歩に出かけると海岸の遊歩道に並ぶレストランから「Captain NARITA！」と呼ぶ乗組員 3 人と Paris から観光に来た女子大生 2 人が一緒に居た。英・仏語を交えて話していたが船の仕事もこのように要領よくやってくればいいのに！ Captain に NARITA と名を付けて呼ばれた時は要注意！ 女子大生に Local 紙に出ている船の船長だとバレてしまった。

彼等の戦略に従って、自分は Coffee を一杯のんで、彼等の飲み食い分全部支払って散歩を続行、暫しの開放感を味わう。

帰船時に岸壁でキラキラした金属の腕輪らしいものを拾得した。昼間に船の前でロケをしていたのでそのスタッフが落とした物らしい。たまたま舷門近くにいた一番若い機関部員にやったら、船長がくれたといつも腕に着けていた。

Morocco の職員は pride が高くて仕事以外では職員と部員とはあまり親しく会話しない。Captain がくれた思い込み、喜んでいるようであった。

## ○ ⑩ Villagarcía de Arousa (ビジャガルシア・デ・アローサ・Spain)

日没で月明かりを頼りに Pilot station に接近、ポンコツ Radar で前方に何かあると一航士が言う。双眼鏡で観ると養殖用の牡蛎棚らしい。航海士用の双眼鏡は左右の焦点が一致せず使い物にならな

い。これでは航海中の見張りも頼りにならない。

ここも漁業で繁栄した港町で景色のよいところだ。街の小公園で老人が親しげに話しかけてきた。揚荷後に艙内の残滓が排水管に流れこまないように Strainer (漉し網) の販売店を老人に尋ねると、店で「テラ・メタリカ」と言えば求める品が有るかも知れないとのこと。金物屋を見つけて倉庫で適当なメッシュの金網を購入、自分の米ドルで支払った。不定期航路、どこへ行っても一見さんなので、A 号では現金払い現地調達するしかない。

最後の揚地 Genoa (Italy) 入港書類を準備するが、船には COPY 器はない。COPY が必要な書類を、マグロを冷凍倉庫に運ぶトラックの運転手に街で COPY をとってくるように依頼するが、運転手からマグロの明細がライバルの会社に漏れたら一大事である。頼んだ運転手が戻って来るか心配しながら必要書類を準備する。

厄介なことにコックが胆嚢結石で激痛のため動けず、急いで下船させてくれと嘆願する。Casablanca に交代員の手配を要請。本社は金曜日で休みだったが、ここで入院か本国送還か明日決まると言う。普段は威勢のよかった野郎もションボリ。「食糧庫の缶詰の残量が少ないが…」と言おうと思ったが下船させるので詰問はしなかった。Taboga 島の海岸でミーハーと船の食糧を喰ったからアッラーがお咎めになった違いない。

午後静かな山間の方へ散歩に出かけた。帰路山端の小径で日暮れとなる。畑の彼方 2km くらいに街の灯りが見えた。A 号はその灯り付近のはずである。畑の畦道を低い方に辿って行けば海岸に着けるかも知れないが途中で真っ暗になるだろうし、畦道がどこまで続いているのかもわからない。運良く 6、7 人のオバチャンのグループが通りかかったので港に帰る道を尋ねると、畦道は途中までだから今いる道を行けばやがて右にカーブしてあの波止場に行ける、と手真似を交えて親切に教えてくれた。これで迷うことなく帰船できることとなる。“gurasious señorita” 通じたのか“nada, nada” の返事。船務に忙しい crew には申し訳ないが上陸をちょっぴり楽しんだ。帰ると代理店が南京袋一杯の黒い大きな貝(カラス貝?) をくれた。食べ物に苦勞しているのを察しての差し入れだったが、調理して食べる余裕がなく食べずに皆死んでしまった。生きていたうちに海に戻してやったら生き延びたかも知れないのに可哀なことをした。

幸い当港も貨物は無事に揚げ荷完了した。補油のため地中海西口(ジブラルタル海峡)南岸の

Ceuta (英国領) に向かう。入渠準備のため船主が整備状況をチェックしに Genoa に来ることが予測されるので航海中の甲板部員の作業は塗装作業が主となる。Deck の塗装は極めて迅速と思いきや、よく観ると手抜き作業！ 錆を除去、清水洗浄、錆止め塗装、上塗りが基本であるが、目立つ個所のみ錆び落とし、洗浄・錆止め塗装も至って簡単、上塗りだけは見事に仕上がった。素人が見れば綺麗な deck となるが直ぐに錆びてしまうこと間違いなし。船が小さく航行中に飛沫が上がるので時間をかけてしっかり塗装するのが困難な事情もある。

船内の通路は飛沫の畏れがないので綺麗に仕上がった。調理室を見に行くと、通路に直に櫛をさした肉が置かれている。ペンキ塗り立てで通る者は足下に注意しているので今は調理台よりも清潔かも知れない。加熱するから大丈夫と特に咎めず。

### ○ ⑪Ceuta (Spain) 入港 STOP 出来ない!!

Pilot station 接近、減速のため Stand by engine にしようとする、機関室から燃料が未だ入港用の A 油に切り替わっていないとの連絡があった。機関長には 30 分前に告げてあるのに、何をモタモタしている。粘度の高い低質 C 油で Engine を止めたら事後処理が大変！急遽 U-turn 他船を避けながら旋回して燃料切り替えを待つ。Pilot を待たせたので待機料を請求されるかと懸念するもそれらしき要求はなくホッと一息した。

補油は主として機関部の担当であるので一航士 (船主の規定では職名が 2nd Captain と記載されている) に在船指揮を頼み郊外の小高い山に散歩に出かけた。山頂の小さな公園では子ども数人が遊んでいた。中学生 1、2 年くらいの女の子が近づいて来た、「カピタンか？」と聞くので「そうだ」と答えると近くの野草の花を切って親しげに寄ってきた。赤いガラスの指輪をした可愛い Spain 娘で近所の年下の子ども達を集めて遊んでいたようでやがて総勢 10 人近くになった。サムライ、カラテ、クロオビとか言いながらイロイロなポーズをとるので適当に相手をした。

山頂付近は質素な暮らしの集落のようで他に人影は無く、子ども達が賑やかに遊んでいた。娘のお婆さんらしき人が近くで農作物を片付けていて時々こちらを見ていたが、デッキ帽を被り、錨のエンブレムの刺繍のある船長の制服ジャケットを着ていたので、不審者とは思われなかったようだ。花をくれた別嬪の子はどうしたか？本国 Spain に嫁いだか、今も山の上での暮らしか？もう中年の

オバチャンになっているが幸せに暮らしていると思いたい。

Genoa 向け地中海航行中に二航士に天体観測による船位の計算方法を教えようと試みるが、天体の高度を測る sextant (六分儀) の誤差が大きすぎて実用できる精度で船位を求めることは無理と諦める。いつも礼拝する聖地の方角は大きな海図で判るといふ。一般に地図に定規を当てての方角は漸長方位である。最短距離を結ぶ大圏方位の計算ができるかと問うと自信なさそう。次の船長も必要海図のチェック、距離・所要時間の計算等は自分ですることになる。

### ○ 最後の揚地⑫Genova (Italy)

ここには 4 日ほど停泊した。以前に会社の定期船で来たときは観光に出かけたり、土産に流行っていたカメオを買ったりしたが、今回はそうはいかない。

食糧やペンキ、消耗品が届くとの連絡があった。食糧は船主支給の halal food でベルギーを出発しているとの情報で到着するまでは外出も出来ない。社船ならこんなことは航海士に任せておけばよいと思いつつ海図を整理し、次港までのコースをひいて所要時間を計算する。時々マグロの状態を見たりした。日本人 5 人は間もなく下船となる見込みだが交代船員はどこの国から来るのか、備品・食料品の引き継ぎがうまくいくかと気がかりではあるが、交代については Morocco crew には内緒にしてある。

食糧のトラックが到着、厄介なことにまたもや品名リストがフランス語だ。運転手を信用して Receipt にサインをするが、下船時に帳簿と現品が不一致だと引き継ぎを拒否される恐れもあり、下船までの食糧管理が大仕事となる。交代で来たコックは日本漁船に乗ったことがあるとのことで、食糧庫を整理して我々の口に合うハンバーグを造ってくれたり、カレーライスに調味用牛乳を使ったりと、我々には menu が良くなったが、Morocco crew には逆に不満が多くなったようだ。

混乗船は食習慣が異なる人種の共同生活であるので苦労する。特に回教徒の場合は戒律で食べられないものが多いので要注意！

貨物のマグロは腐敗なく無事揚荷を完了し、空船となる。しかし船艙内は魚の切れ端や鱗がべったり！腐敗しないうちにと Genova 出航後艙内の洗浄を急ぐがままならない。機関部では排水ポンプがトラブルだと騒がしいので調べると、船艙

洗浄中の甲板部が Spain で買った船内のパイプのフィルターを外して汚水を流し込んでいるため、ポンプにゴミが詰まり停止したものである。船内のフィルターにウロコが溜まり洗浄水の流れが遅いので効率を上げるために外したと言う。何のためのフィルターか判っていない。甲・機両部の協調不足と知識不足で作業効率が上がらないが致し方なし。下船も近いことだし、ガマンガマン。

掃除未完了のまま⑬Gibraltar（欧州大陸南西端・英領）に着いた。ドックに入る順番待ちのため錨泊し掃除を行うが汚水排出で捕まったら一大事である。魚体とウロコだから元々海のものだと解釈して近辺の船に注意しながら海水で洗浄し、仕上げは手持ち少ない清水で塩分を流して乾燥作業。出来る限り洗浄したがドックに入ってから魚の臭気が少し残っている。多分次の貨物は Africa から欧州への fruit だと思う。そうであれば臭気は禁物だが冷凍機の負荷は少なく済むだろう。

交替乗員には申し訳ないが次の積荷の情報が入る前に我々は下船となりそうだ。

## ○ 入渠

ドックでの検査・修理の要領が難しい。通常は最初に本船・船主・ドック三者が工事内容やスケジュールを確認するべきであるが、直ちに修理開始のため船主側の工事監督が適宜ドックと協議している。工事監督は機関関係が専門らしい。Bridgeの風向・風速計の指示が正しくないので修理を要求するが、船が小さいので水面の波を見れば風向・風速は判るという返事であった。救命艇を吊るワイヤーも錆びている。老朽船で短距離航海がメインのようで検査に合格すれば O.K.の方針らしい。

修理の要求は監督に任せて下船の準備をする。無責任だが出渠前に下船する見込みである。

必要となれば次の船長が要求するであろう。

## ○ 配乗替え

交代準備のため法定証書類等をチェックした。本社から期限切れ更新の書類はドックに送ったと連絡があるが届かない。同じドックに入った X 号に照会したら本船宛の書類が同封されていることが判明。X 号が届けてくれれば良いのに、急ぐので受け取りに行く。X 号は普通の外航大型貨物船で設備も整い、crew も A 号より優秀な印象だ。

日本人配乗に先立ち、検船した時の報告では、“配乗を検討の Morocco の船舶は日本人配乗に

支障無しとの結論で、検船の際の食事はフランス料理が出された”との記載があったとのことである。本船 A 号の歴代船長メモには不平・不満が多々記されていた。“検船に行ったバカどもは船の食事を見たのか！”と書いてあった。多分、検船者には Halal food ではない食事を用意してくれたものと推測する。

我々 A 号は船主提供の Halal food。豚・酒類等は厳禁であった。ただし日本人は酒類を飲んでいて、あるとき日本人機関士が飲酒中にアラームが鳴り現場へ急行、機器の応急処置を終えて元に戻ると残りの酒が減っている。

三機士が赤い顔をしていた。テーブルにあったのを飲んだのだ。尋ねると「アッラーは今 sleeping（お休み中）」と言い訳。回教国以外での港で上陸して酒の味を知っている者もいる。

彼とは対照的に三航士は敬虔な回教徒で個室にコーランの刺繍を置き、毎日礼拝している。夜部屋に行くと「Captain が今日教えてくれた事についてアッラーに感謝している」と言う。当事者よりも、そのように運命を仕向けてくれたアッラーに感謝する教義である。

回教徒は食事には厳格である。海技大学校に勤めた折、外国人を施設見学に引率した時、見学中 1 日何も食べない者がいた。日本の食堂・喫茶店の食べ物は豚に触れたものばかりで食べられないと言っていた。Hawaii のキリスト教会で結婚式を挙げ、正月に神社にお詣り、葬儀はお寺でと臨機応変な日本人もいるのだから、外国人との混乗では宗教や習慣には特に注意を要する。

入渠中に日本人総員 5 人が下船。交替に Yugoslavia の船員が来た。引き継ぎ期間は 2 日、新船長は Captain's room を見てガックリ、金庫のダイヤルは壊れて跡形無し。船用金は引き継がず船主と精算してから改めて受け取るようにした。

修理工事の状況を見て、〇〇は？といろいろ尋ねるが次第に諦めの表情になる。書類その他を引き継ぐが食糧の状況を見てこれまたガックリ。到着日はホテルの食事だが、本船では Halal food になる。運悪く Morocco の船籍港停泊中に金曜日にならば、完全休日で皆礼拝に行き、食事すらない。食べたい物があれば自分で買ってくるしかない。

乗組員に健康検査を受けさせているが一人血液検査で再検査の者がいると告げると新乗船者はパニックになる。梅毒ではないか？と心配している。我々が下船後に結果が出るが、出渠までには日がある。検査結果は三航士に確認して必要な対応を

するように伝える。

新船長曰く「オー、クレージー、ジブシーナヴィゲーション！」ユーゴの新 crew は同郷の者のグループらしく、集まって議論していた。

船長が言うには、冷凍船で難しいことが多いし、健康衛生にも不安、契約は6カ月が最初の区切りとなるができるだけ早く下船したいと言う者がいるので議論しているとのことであった。期間雇用の船員で乗船前に船の実態を知る機会はなかったと思われる。

異文化経験の機会と考えて Morocco crew には厳しくしなかったが、ユーゴの船長は、船長らしく職階に従って厳しい指揮を執るであろうが Morocco crew とは仲良くやって欲しい。

船長室の横の locker にガラスが割れて汚れた肖像画があった。日本人の前に乗っていた職員(ドイツ人?)が腹いせに mess room に掲示してあった国王の肖像にビールを投げつけたらしい。バレたら飲酒と不敬の罪だ。戦前の日本ならば奉安殿に石を投げつけたくらいのものである。この件は新船長には告げず、肖像画が船長室の横のロッカーに在ることだけを告げた。

船乗り稼業は船内では同じ釜の飯の仲間だが、期間雇用では雇い止め・下船を以てサヨウナラ。Manning 会社を渡り歩くこととなろう。See you again ではなく Good by, Bon Voyage !だ。

ドックでは Casablanca 本社から社長の親族だと言われる若い社員が来船し、「Panama からの船長の電報を受けたが、非常に長い電報で料金が凄く高額だった」と言う。「Yes 自分もあんな長い電報は初めてだ」と言い返す。同席していたドイツの技師が「今までは A 号の状況が掴みにくかったが、あの詳細を知らせる電報が本社と船舶管理会社に同時に入ったので、迅速に対応できた。電報がなかったら大損害を招くところだった」と若い社員を諭していた。

## ○ 下船、Madrid (Spain) へ

長文電報、完全輸送が評価されたのか、時間があれば本社の近くの Casablanca のホテルで一泊、アルコール類以外は好きな物を食べてよいとのことであった。Gibraltar から Morocco へ向かい、中心街の一流ホテルで一泊した。船主の会社は政府との繋がりが強いと聞いていたが、office には民族衣装の颯爽とした人物が出入りしていた。ただ、女性の姿は見かけなかった。

ホテルでは近くのテーブルの白人が旨そうな料

理を楽しんでいたが、我々は Menu を観ても判らない。5 人とも Steak, toast, fried egg & orange juice。検船の連中はフランス料理も識らないヤツラだとあったが、我々も同じレベルだ。

治安の状況が判らないので夕食後は自由行動として、自分はホテルの近くを散策後早々に早寝した。Casablanca 空港では手持ちの金を\$か¥に換金しようとしたが出来ないとのこと。Morocco の船を下り日本へ帰国するのだと説明したら、肩章を着けた役人が説明に来たけど要領を得ず、少額なので諦めて Madrid 行きの機内へ。

## ○ 飛行機が待っている！ 走れ、走れ！

⑤Madrid 空港では乗換える⑥Amsterdam 向け flight が我々を待っているとのこと、搭乗 gate に走れ！走れ！小さい船での生活で走ったこともないのに一目散。Baggage claim に我々の荷物は成田空港へ送っておくように手続きして、夕方 Amsterdam のホテルに着いたが、夕食後の市内観光には遅すぎる。一航士が有名な飾り窓 (Red light district) を観たことがないと言うのでタクシーで連れて行く。昔は昼間でも賑やかで見物客が大勢訪れていたが、タクシーの運転手が人の少ない路地は気をつけろと言うので車の中からの見物とした。現在は tour を組んでの見物には制限があるらしい。

Amsterdam から成田への機中は皆無口、疲れが出て居眠りする者、有給休暇をどう過ごすか考える者それぞれ。一航士は乗船中に親が亡くなったので寂しい休暇となるだろう。

成田空港からはリムジンで東京へ、東京駅前の郵船本社で関係部署に下船報告を済ませ解散した。短い乗船期間であったが、船長の職務プラス航海士、時には部員の仕事までやらざるを得ず…。

過ぎ去った今となってはいつまでも記憶に残る航海となった。

日本郵船在職中は Flag ship 日本最初の Full container 箱根丸、欧州航路最新鋭の春日丸、皆が乗りたがる南太平洋バリハイ航路 South Islander にも乗った。内陸の五大湖や黒海にも行った。A 号のジブシーナヴィゲーションは特異な経験として未だに記憶に残っている。

ただ、郵船勤務中に多くの港を訪れたが、大阪商船移民船船長をしていた祖父の名が残る南米 Brazil, São Paulo の NARITA 通りを訪れる機会がなかったのが心残りとなった。

～次号に続く～



徒交換留学を達成し、文部科学省のスーパーサイエンススクール（SSH）の指定校となったことは嬉しいかぎりです。

母校の写真を添付しますので、懐かしんでください。



東京オリンピック聖火リレー（昭和39年）  
時習館も生徒もリレーに参加した  
時習館高校ホームページより

## ○ コロナ克服を願い

昨年からのコロナ禍により世の中はすっかり変貌してしまいました。外出にも気を遣わなければならず、何かと暗い気持ちになりがちな昨今です。

でも、「開けない夜はない」という諺があります。きっと未知のウィルスに打ち勝ち、収束することができるでしょう。その日が早く訪れることを願い、他人への思いやりと感謝の気持ちを忘れず、日々暮らしてゆきたいと思います。



旧正門と本館（明治39年8月中柴の地に竣工、昭和20年6月戦災により焼失、正門のみ昭和28年10月現時習館高校に移築される）



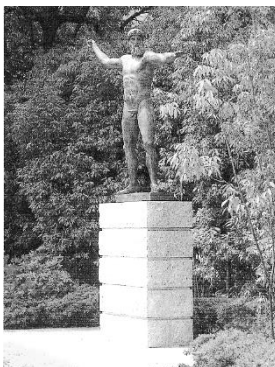
現時習館東正門



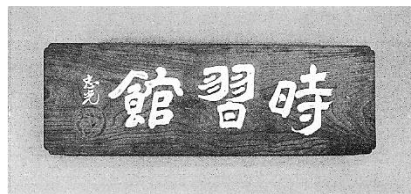
時習館高等学校 航空写真  
グラウンドの広さが際立っている



平和の杜（映画「早咲きの詩」に用いられた詩）  
創立100周年事業として、平成6年8月造成



ポセイドン像  
創立100周年事業として  
平成5年10月建立



時習館扁額

宝暦2年(1752)創立、明治5年(1872)廃校になった吉田藩校の壁間を飾っていたもの。文字は論語学而篇にみえるところ、筆者は創設時の吉田藩主松平伊豆守信復の老臣北原忠兵衛忠光。実物は焼失、現在あるのは焼失前の拓本からの複製



徽章

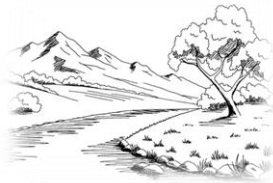
豊橋中学校が豊橋高等学校となった昭和23年7月に制定。時習館高等学校となっても引き継ぐ。本校教諭富安昌也先生の考案



校旗

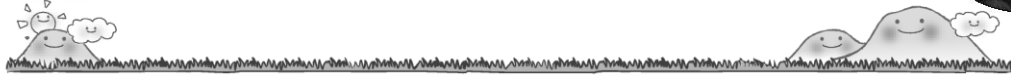
校旗は横長4尺8寸(1.36m)の白縮緬に“時習”の文字を墨書きしたもの。筆者は日清戦役に勇名をはせた前歩兵十八連隊長、陸軍少将佐藤正。現存は旧製を模したもの

**会員だより**



# 野山をもっと 歩きたい

吉田 久善 (時習 15)



## ○ いつものハイキングは休止中

毎月、ハイキングに出かけるのが当たり前だったのに。

2020年3月末をもって予定通り航空関係の仕事で退職、時を同じくして「世の中大変」から「不要不急」「外出自粛」の強風下に入った。

ハイキング会は休止、俳句会はメールで、飲み会やカラオケ、ダンス等は慎む。

## ○ 少しでも体を動かして次に備える

電車やバスの利用は控えて外出も減らし、家の近くをジョギングや歩き、公園の遊具に掛まりストレッチ体操などに励む。

その頃、近くの空き地にカメラを向けている人に聞くと「ケリ（チドリの仲間で羽に白いストライプ）の親子の子育て、去年も居た」

近くの公園や淀川の水辺を飛び回っており、2カ月ほど追っかけた。

6月には豊中市南部の水路で9羽の雛を引き連れたカルガモに出会う。

各季節に現場で尋ねて、ジョウビタキ、カワラヒワ、シジュウカラを教わった。

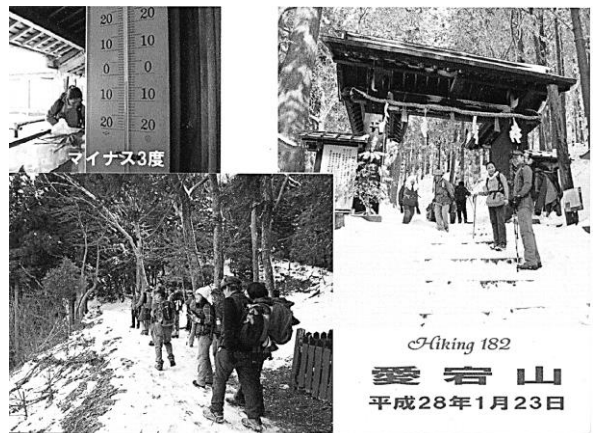
足元では堤防でツクシ、ノビル、公園でギンナン、キクラゲ等の食材採集で、大阪府の食料自給率の下位脱出にささやかに努める。

## ○ 家の中で、山歩きの写真を眺め、イメージトレーニング

暇に任せて写真や資料の整理、処分にかかった。

平成12年頃から、伊丹空港内のハイキング部に参加し始め、最近では計画作りに苦闘中。

・例年、1月は京都の愛宕山へ雪山歩き、火の用心のお詣り、下山後は水尾の集落で柚子風呂と鳥のすき焼き



1月定例、京都愛宕山の雪山歩き

・2月からは第3土曜日に関西近郊の山や街歩き  
六甲山系の東、名前の通りのごろごろ岳、西宮から宝塚を眼下に、遠くに伊丹空港での飛行機の発着を眺める。



六甲山系、ごろごろ岳

・大和三山は最高でも 199m、メンバー高齢化に伴い好評なコース



**高齢化向き、大和三山**

・比良山系の蓬莱山は 1100m を超すだけに、元気な子どもを横目に見送るオジサンも山頂からは琵琶湖を見渡す。今、写真を眺めると「密だなあ」と気付かされた。



**比良山系蓬莱山ハイキング**

・8月には信州方面の高い山へ 2~3 泊で出かける。日本で 2 番目に高い北岳から間ノ岳への縦走では雨風に悩まされ、景色も見渡せず。

南アルプス北岳・間ノ岳縦走



南アルプス 北岳・間ノ岳 平成25年8月23日~25日 高さ日本の番目 4番目



・大雪渓やお花畑で人気の白馬岳では、雪渓の雪は少なかったが、若手にバテた人の荷物を担いでもらい、助けられた。

下山の途中で雲の晴れ間から山頂が顔を出してくれた。



**北アルプス人気の山、白馬岳**

- ・険しい山は少人数で行く。
- ・奥穂高岳(3190m)の山上からは前衛峰としてのジャンダルム、隣の涸沢岳からは背景の中央に北穂高岳、その左に槍ヶ岳が呼んでくれている。



**奥穂高からのジャンダルム**



**涸沢岳：北穂高と槍ヶ岳を背にして**

・剣岳（2999m）へは「カニの縦ばい、横ばい」などの難所を鎖につかまるなどして登り、頂上へたどり着くと一安心、しかし気を引き締めて下山にかかる。



北アルプス立山連峰剣岳

### ○ 富士登山を夢見て、気長にハイキング再開を待つ

日本で2番目から5番目の山や、手強い剣岳などは複数回登ったが、富士山は混雑を考え「眺める山」であった。



「眺めるがよし」としていた富士山

ここ数年、後輩から「そろそろ富士山へ」と誘われ、自分の年齢を考えその気になって来た。

そこへ「コロナ禍」、富士山を含む高山への入山制限や山小屋の休止等の動き。

2021年も「夏山」など、霧の彼方であり、この状況は数年続くことも想定して待つしかない。

月例ハイキングは世の中の動向に気を遣い、随時、少人数で誘い合って歩こうと考えている。

### ○ 話は変わって、三河の昔の記述もあり、時間つぶしにお勧めの本！

「旗振り通信と航空灯台」 忘れられた歴史を探し求めて（2021年1月出版）

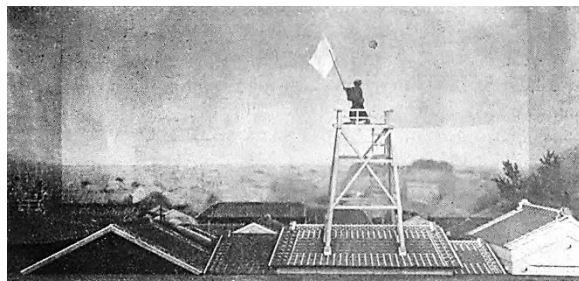
著者は大阪府の元教師。私は航空灯台跡探しで

2012年から情報交換中。

大きくは3項目

#### ① 旗振り通信

江戸～明治時代 大坂 堂島等の米相場を小高い所で旗振りと遠眼鏡で各方面へリレーして伝え、米取引に役立てた



江戸時代の旗振り通信の想像図

「西尾・豊橋ルート」を開くと、桑名から愛知県を経て浜松方面の点と線がある。「桑名→蒲郡の遠望峰山、桑谷山（三河湾スカイラインに近接）→豊橋（関屋町から花田町石塚に米取引所があった）→嵩山→三ヶ日」

遠望峰山上には2坪程の小屋、旗振り役は塩津村（後に蒲郡市に合併）の人が技術を習い、1日10回程度受信し、岡崎や豊橋の取引所へ送った。給料は当時の小学校長の半分位とのこと。

明治時代に電話網が整備され、徐々にその役割を引き継いだ。

#### ② 航空灯台

昭和5年、民間航空が夜間の定期輸送計画を立て、安全のため航空路に近い各地に高さ15m位の航空灯台を設置した。

点灯開始は東京から岡山付近で昭和8年。

豊橋の航空灯台は、一つは昭和8～16年、嵩山の富士見岩付近だが現地確認はできてない。二つ目は昭和21年、連合軍の指示のもと、多米峠から弓張山系を南下、神石山頂に移設された。今も現地に木のプレートがあり、周知されている。

御油航空灯台は標高97m、緯度経度、御津村などから、兄と車で近くへ行ったが鉄塔の痕跡は不明。幡豆の航空灯台（幡豆町）標高約330mは、三ヶ根山方面と思われたが土地勘が乏しいので行っていない。

昭和40年頃には航空機の高速化、高高度化により無線電波に役割を引き継いだ。

#### ③ ラジオ塔

昭和5～17年、スポーツ中継、ラジオ体操の放送が聞ける「ラジオ塔」が各地の広場に設置された。

各家庭にラジオが普及して引き継いだ。

会員だより

# 折り紙クラブ立ち上げでコロナうつ回避

もらってうれしい花いちもんめ

熊谷 信哉（時習 18）



昨年3月、神戸市の高齢者大学「神戸市シルバーカレッジ」を卒業、次の居場所を模索した結果、シルバーカレッジの地元で折り紙クラブ立ち上げを思いついた。地元の主婦ら高齢者を対象に月2回、練習を続け、年2回は近くの小学校に折り紙をプレゼント。コロナ禍の拡大と並行していたため、「ステイホーム」に対応した会報発行も続けている。苦肉の一手が助けになり、厳しい時代の中、引きこもりにならず辛うじて前向きの姿勢を保つことが出来ている。

## ○「オリガミアン」立ち上げへ

昨年3月24日のシルバーカレッジ卒業式が中止になった時点でも次にどこに行くか全く思い浮かばなかった。カレッジへの再入学、兵庫県が運営する同様の学習機関や民間の文化教室、豆腐づくりサークル…。どこもしっくり来ない。かと言って自宅でテレビのお守りをしていたのではボケるばかりだ。進退窮まった瞬間にひらめいた。「そうだ、40年間、細々と続けてきた折り紙を教える場を作ってみよう」。



今や折り紙は女性だけのものではなくなった。男性会員も熱心に講座に参加

さっそくクラブ立ち上げの手続きと骨格づくりに着手。設立発起人は5人以上必要だったが、シルバーカレッジのクラスメイトに依頼、快諾を得た。この中には男性2人も入っており、彼らは

今でも熱心に通ってくれている。カレッジ同窓の女性が友人に声をかけたおかげもあり、地元の主婦らも多数参加した。現在の会員数は14人、会費（会場代）は1回100円だ。

## ○「対象は高齢者」を最大限意識

組織そのものは高齢者の集まりという点を最大限勘案した。趣味の世界でギクシャクしたのでは面白くない。このため、あえて不特定多数への勧誘はやらず、知人を入れるように心がけた。教材はテレビやネットなどから取材した「創作折り紙」を素材にしており、主に子どもを対象にした「伝承折り紙」とは一線を画している。

折り紙指導はマンツーマンでやるため、会員数はあまり多くない方がよい。例会は月2回（1回2時間）とし、復習に重点を置いた。クラブの正式名称は「おとなの折り紙オリガミアン おしゃれを折り伝える」（略称オリガミアン）とした。

折り紙は社会的な娯楽と思っている。一人で密やかに楽しむよりも覚えた作品を周りの人に受け取ってもらい、一緒に喜びを分かち合うと幸せ度は倍加する。クラブの名称にある「折り伝える」にはそういう思いを込めている。

コロナ自粛のせいでクラブ立ち上げ・初練習は7月7日からとなってしまったが、和気あいあい

と楽しくやっており、当初の狙い通りの運営が出来ていると確信している。

○「巡業」はせず同じ場所でボランティア活動

「オリガミアン」はシルバーカレッジの関連団体「グループわ」に籍を置いているが、ここは「ボランティア活動で社会へ還元を」が基本方針。ボランティア活動では近隣の小学校や老人クラブを巡回し、そこで教えるという手もあるが、これでは疲れてしまう。「オリガミアン」はこの方法は取らず、地元の主婦らに毎回、同じ場所に集ってもらい、そこで定期的に教えることにした。「グループわ」の中では斬新なボランティア手法として注目を浴びている。会場は地区内にあるかつての幼稚園跡で、当時の写真も多数飾ってあり昭和ロマンの雰囲気があふれている。年に2回、七夕とクリスマスには会員らの折った作品を近くの小学校にどっさりプレゼントして喜ばれ、「オリガミアン」は地域からも認知されている。



教室で覚えた折り紙は年2回、近くの小学校にプレゼントする

○ネタ探しは「創作折り紙」から

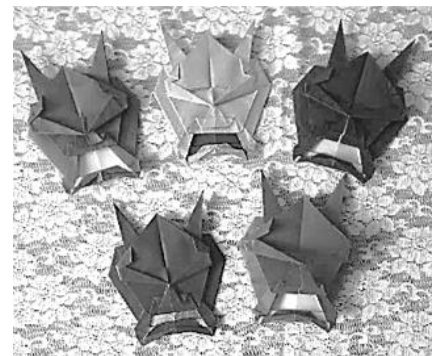
教材はあくまでも「創作折り紙」である。ネタは無限にあるが、高齢者に教えやすく、かつ彼らが家族やお孫さんたちに披露してええ格好出来

るものが望ましい。NHK教育テレビで土曜日、不定期に放映される「オリガミの魔女と博士の四角い時間」やネット、専門の本などから探し、3人の世話人が話し合



ってテーマを決める。もちろんタイムリーなもの

も意識する。クリスマスには「モミの木、サンタ、トナカイ」の3点セットを取り上げ、会報でも練習の成果を誌上展示。新年は干支の丑と金赤の鶏を練習、金でめでたさ、赤で疫病退散を願った。どちらも縁起物で会員の家庭で飾られ話題になったそう。節分向けにはネットから「鬼の顔」を探し出して模索しながら迫力ある作品に仕上げた。



○「ステイホーム」に対応した会報発行

残念ながら、このコロナ禍はすぐには収まるまい。長期にわたる「ステイホーム」を見越して会報「オリガミアンだより」の発行も活動の大きな柱にしている。教室でテーマとなる作品の折り図を紹介するとともに「折り紙」をキーワード



にその周辺の話も取り上げている。A4判、20年4月～21年3月で38号、71ページ発行した。折り紙考案者からの手紙、1対√2の紙で折れる作品なども紹介した。

## ○感染防止に最大限留意

人生 100 歳時代を迎え、何回目かの折り紙ブームが来ているらしい。婦人雑誌でも「認知症予防に効果」など大見出しが躍る。

効果のほどは分からないが、折り紙に対する一般の興味は確実に増していると感じる。こんな中、上部団体の「グループわ」からも「活動をHPで紹介してはどうか」というありがたい誘いがあったが、あえて拡大路線を取らず、PRは一切控えるようにしている。強い指導希望が来ることもあるが、これに対しては「体験教室」を用意、「ここに来てコーディネーターになり皆さんに教えて欲しい」とお願いしている。

コロナ禍が拡大する中での折り紙指導は神経を使う。状況を見ながら昨年の8月18日を皮切りに今年2月末まで計5回、休講とした。開講時は世話人が教室を徹底消毒、ソーシャル・ディスタンスを保ち、換気に気をつけながらマスク着用で指導している。

## ○ほっこり体験

「折り紙はどんどん折って、どんどんプレゼン

トしよう」——クラブの正式名称にも盛り込まれているモットーを会員みんなが守っている。過日、その体験談を会報で特集した。もらった方は最初はビックリ、ドッキリ。しかし瞬時に「ほっこり」に変わるようだ。これは日本人のDNAに織り込まれているのではないだろうか。以下、会報から拾ってみた。

「眼科医にワンピースの折り紙4個を持ち込んだら、きちんとビニール袋に収納、待合室に飾ってくれた。訪れる人たちが共通して発する言葉は『男の人が折ったってホンマ?』だそうです」

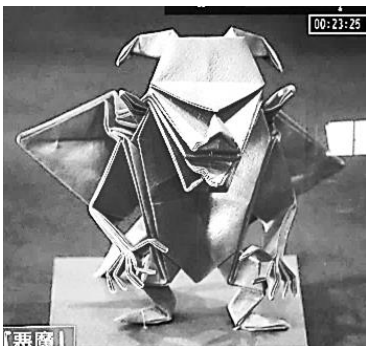
「教室で習った鬼の顔の折り紙を1歳半の孫に見せたら、じいっと眺めているうちに突然、『わあ〜』と大泣きし出した。なんだか可哀そうになりながらも、可愛い泣き顔にほっこりと癒されました」

「犬の顔を妻に進呈したら、にっこりとほほ笑んだ。添え書きの『いつもありがとう』が彼女の琴線に触れたらしく、私は得をした気分になった」

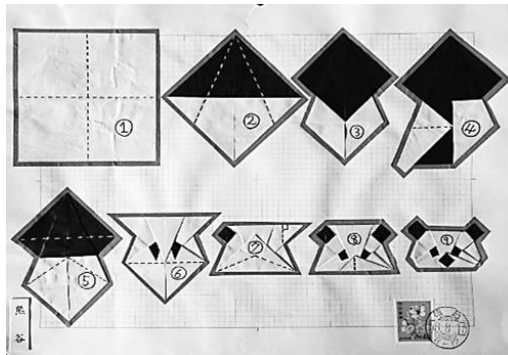
日本の伝統に根差した「創作折り紙」を介してほっこり気分を広げるとともに、立ち上げの精神である「折り伝える」を今後も続けて行きたい。ボランティア活動に足を踏み入れた70歳代、捨てたものではない。

# 折り紙って意外と楽しいよ

理科系の方、注目!!



折り紙作家・前川 淳さんのデビュー作にして代表作「悪魔」。数学的な法則を使って考案され、折り紙界に衝撃を与えた。こういうのは目の保養用



折り紙を覚えるコツをパンダの頭部分を例に取って説明する。面倒くさいようだが上のような折り工程図を作ることが結局が一番確実で早道

子どもたちに人気絶大のカニ



ワンピース。襟部分の仕上げ

**会員だより**



**昨年を振り返って**



**神藤 真由美 (時習 21)**

父の仕事の関係で、小5から高3まで豊橋で暮らしました。

大学は京都で、それ以降豊橋とは縁がないまま、現在泉州泉佐野で暮らしております。

昨年、たまたま伊藤さんと会う機会があり、時習館のことを懐かしく思い出しました。

現在、地場産業のタオル業を営んでおり、まだ、現役で働いております。

お客様と同じ目線でタオルを見て、タオル職人の目線でタオルを作る。それが我が神藤織物(株)の理念です。

**○ 夫の病と母の死を乗り越えて**

令和2年は大変な年でした。商売の方はイベントなどなくなりタオルの注文もキャンセル続き、コロナ関連商品で少しはカバーできましたが、売り上げは約30%ダウンでした。

あまびえハンドタオル、抗菌、抗ウイルス加工のマフラー、ガーゼタオル等、写真を添付しますのでご参考までに。



Ag マフラー

あまびえハンドタオル

また、プライベートでは母の死、夫の入院が重なりなかなか大変でした。

6月末、母が誤嚥性肺炎のため入院し、一時回復したものの、満94歳で9月に亡くなりました。

一方、夫も声が出にくくなり、8月から2カ月

弱入院しました。

コロナ禍ということもあり、二人の入院中はなかなか大変でした。母は高齢で、危篤状態ということもあり、毎日10分の面会が許可されました。川崎から妹も何回も来てくれ、亡くなるまで3カ月弱ゆっくりお別れできました。

夫の病院は片道一時間かかる遠方でした。着替えを持って行っても、部屋には入れてもらえず、顔だけドアから見るのが精一杯でした。

入院前、毎日夫との晩酌が楽しみでしたので、一人の夕食は寂しいものでした。

主人が入院中に中秋の満月。毎年夫と自宅で月見酒。昨年はお月様にお供えだけで、ひとりで食事をしました。

声が出にくいので、電話も聞き取りにくく、お互いストレスでした。

昨年、一番こまったことは、母のお葬式及びその後のことでした。私は二人姉妹でどちらも家を出ています。母は6年前から施設でお世話になり、実家は空き家状態でした。お葬式をどうしよう、位牌はどうしたらいいの。夫は入院中。実家は浄土真宗、私の嫁ぎ先は浄土宗、ああどうしよう。

まず、両方のお寺さんに相談に行き、お葬式と初七日までは浄土真宗でして、その後は、神藤家でおまつりしたらいいと言われ、夫も神藤の仏壇にわたしの両親の位牌をこころよく受け入れてくれました。ほんとうにほっとしました。

みなさんに感謝です。

お葬式の時は夫も一時退院して、参列してくれました。家族だけでお別れできてよかったです。

母が亡くなってはや4カ月、夫も退院してやっと普通の生活に戻りました。

**○ 今後ともよろしく願いいたします**

まだ、コロナ禍で大変ですが、皆さんとともに、明日に希望を持ちたいと思います。令和3年はいい年になりますように。

会員だより



ウォーキングが欠かせぬ日課に



太田 智子 (時習 25)

奈良県に住んでいますが、昨年末の川瀬さんの訃報に接しまして、大変驚くとともに、残念でなりません。

川瀬さんが中心となって奈良での関西支部の同窓会総会が3回開かれ、ホスト役として準備、当日もいろいろと気配りされていたことが思い出されます。

川瀬さんのご冥福を心よりお祈りいたします。

の右側は三郷町、左側は王寺町。まだまだ自然が豊かです。



大和川の若草橋から見る風景  
正面に信貴山が見える

○ 奈良に住まいし、ウォーキングを始める

私は奈良県生駒郡三郷町に引っ越して34年が経ちました。三郷町は人口約2万3000人の小さな町で、高齢化率も高いですが、大阪のベッドタウンとして子育て世代も増えています。

我が家は子どもたちが独立して夫婦2人暮らし。私は還暦を過ぎた4年前に病気で入院しました。今は投薬治療中です。主治医からウォーキングを勧められ、週に3~4日家の周りを4000~5000歩歩いています。4000歩でも主治医に「頑張っているね」と言われ、嬉しくなっていて、だんだんと目的地を決めてちょっと遠くまで足を延ばすようになりました。

それから昨年NHKの「ブラタモリ」で紹介された王寺町の明神山にも行くようになりました。家から歩けば往復2万歩になるそうですが、私は明神山の駐車場まで車で行って頂上まで約2キロを登ります。頂上には大阪側と奈良側に展望台が整備されていて、大阪側は大阪平野、天気が良くと大阪湾が見渡せます。



明神山頂上から大阪側を見る  
大阪平野に大阪湾も見えます

○ 美しい景色に癒されて

最初はJR王寺駅前の銀行やスーパーまで、大和川を渡って往復7000歩の距離です。帰りは上り坂で荷物もあり大変ですが、大和川に架かる若草橋からの風景には癒されます。

遠くに見える2こぶの山は信貴山、山並(生駒山地)を越えると大阪の柏原市です。大和川

そして運が良ければ明石海峡大橋まで見ることができるようです。

奈良側は奈良盆地(若草山、三輪山、大和三

山、橿原神宮、金剛山、葛城山など）がぐるりと180度一望できます。



**明神山頂上から奈良側を見る  
奈良盆地が一望できます**

人気がある場所で前後に誰かが歩いているし、すれ違うと挨拶を交わしたりします。一人でも安心して行くことができます。

## ○ 気に入っている龍田神社

またお気に入りのコースに JR 三郷駅前の花屋さんまで往復1万歩のコースがあります。家から三郷町役場まで往復3000歩。役場から西の方へ。中学校の前を通り、真っ直ぐ行くと龍田大社の鳥居前に出ます。



**龍田大社の鳥居**

龍田大社は聖徳太子が法隆寺を建立する際に神託を受けた神社とされています。龍田大社に拝礼して、しばらく行くと JR 三郷駅前の花屋さんに着きます。この道は龍田古道と呼ばれ、法隆

寺から大阪柏原市まで続いています。車が1台通れるくらいの細い道で、中学校から三郷駅までは道沿いに民家が並んでいます。1300年前の昔に馬や牛に荷物を乗せて人々が通ったかと思うと感慨深いものがありますし、今もなお人々の暮らしが受け継がれていることに歴史の重みを感じます。

「龍田古道・亀の瀬」は令和2年6月に日本遺産に登録されました。

最後に、家から車で15分のところに河合町と広陵町にまたがる県営馬見丘陵公園（0.653km<sup>2</sup>）があります。入園料が無料で四季折々の花々が咲いています。昨年11月末に行ったときは、一面のコキアが亜麻色に染まっていた。



**四季の折々の花に彩られる県立馬見丘陵公園  
(11月：コキア)**

## ○ 成果はこれからです

ゆっくり歩いて花を楽しむ人、ジョギング、ウォーキング、バードウォッチングを楽しむ人、写真を撮る人、家族連れ、年配のグループ、赤ちゃん連れのママ友たち、遠足の小学生や散歩中の園児など多くの方が訪れています。私は天気の良い日に花を眺めながら好きなだけ歩いて帰ってきます。

「ウォーキングの成果は出ている？」と聞かれると、今のところ体重の変化はありませんが、少し筋肉が付いて、足取りが軽くなった気がします。怠け心に負けないようにして、これからもウォーキングを続けたいと思います。

会員だより



「弱さ」と向き合いながら生きる

～我が自分史から～

千葉 泉 (時習 29)



一昨年(2019年)の4月から半年の間、サバティカル期間を取得し、一冊の本を執筆した。タイトルは『“研究者失格”のわたしが阪大でいっちゃんおもしろい教授になるまで—弱さと向き合い、自分らしく研究する—』(明石書店、2020年)注\*。通常の学術書ではなく「自分史」である。

一介の大学教員にすぎないわたしが、なぜ「自分史」を書いたのか?

幼いころから「本を読むこと、文章を書くこと」が嫌い。そもそも研究者としての資質に欠けているのに、両親や「優秀」な兄たちの影響(洗脳)で学術の世界に迷い込んでしまったわたしの人生は、挫折や失敗だらけの、そして劣等感との闘いの道のりだった。

○ 音楽的資質がわたしの宝

かすかな光が差したのは、大学院生の時のことだった。宗教民謡の研究をするために、軍事政権下の南米チリに留学したわたしは、調査の際に、唯一の取柄であった音楽的資質(ギターの弾き語り)を活用してみた。すると、現地の歌い手たちはわたしを「歌い手仲間」と呼び、心の内を明かしてくれた。



ピルケ村(チリ)の教会で現地の宗教民謡を歌う

そして、豊富で独自の情報をもとに、オリジナリティーのある学術論文を書くこともできた。

大阪外国語大学に就職したわたしは、他の先生方の「優秀さ」の前に萎縮し、再び劣等感に悩まされることになった。それでも、独学で修得した言語の運用能力を駆使し、先住民の人々と交流を暖めたことが、ささやかな成果につながった。



先住民の祈願儀礼「ギジトゥン」(チリ、サンティアゴ市)

また、国際協力の分野では、わたしがギターで弾き語る現地舞踊の演奏で、現地の年配の夫婦が踊ってくれた

ことがきっかけとなり、農民たちの信頼を取った。



現地の住民会議でチリの国民舞踊「クエカ」を歌う

こうして、参加型開発をめぐる課題の解決に寄与することもできた。



現地の住民会議でチリの国民舞踊「クエカ」を歌う

このように、本来苦手だった学術世界において、少しずつ「わたしらしく」振る舞えるようになるとともに、さまざまな分野で「他者」との交流を経験するうちに、「自分らしさ」の社会的意義、すなわち、当事者の資質を尊重することの重要性を学んだ。2007年に、外大と阪大の統合を経て、阪大の人間科学研究科に移籍した後は、それまでの学びを大学での教育にも応用し、学生たちの積極的な参加を促すような授業を構築していった。



「ウクレレ弾き語り」の授業で  
自作曲を発表する学生たち

（「歌って学ぶラテンアメリカ」、「ウクレレの弾き語りによる自己表現と協働」など）。さらに、50歳を迎えた2009年には、スペイン語や日本語での「歌作り」（作曲）も始めた。



授業で受講生とともに演奏する

## ○ 鬱からの脱却は学生たちとの「語り合い」

「さあ、これからは充実した人生が待っている！」そう感じられるようになった矢先のことだった。些細な不注意で犯した仕事上のミスが大きな問題に発展し、処罰されることになった。そして、この失敗による罪悪感に家庭内の困難が重なり、数年にも及ぶ（一度目の）鬱に陥ってしまったのである。「自殺だけはしない」、それだけを心がけながら、暗闇の中をさまよう地獄の日々が始まった。

元気がなく、十分な指導ができないことを申し訳なく感じていたわたしは、自分が抱える苦悩を指導する学生たちに打ち明けるようになった。すると、彼らはわたしを軽蔑することなく、それぞれが抱える悩みを開示してくれた。そのうちに、この「心の開き合い」が、わたしだけでなく、学生たちの心をも癒すことに気がついた。

研究室で静かに始まったインフォーマルな話し合いは、のちに「語り合い」の授業へと発展した。受講生はそれぞれ、評価や体面を気にして通常なら口にしないであろう、過去のトラウマ体験や現在の悩みを、他の受講生を信頼して打ち明ける。すると、聞き手となった受講生も、心の内に秘めた重い、あるいは大切な体験について語り返す。こうした「自己語り」を重ねるうちに、自分自身のことも他者のこともよりよく理解できるようになる。互いに癒し合い、励まし励まされ、そして「共に生きる」仲間となる。そんな授業である。



語り合う学生たち

「語り合い」や音楽の実践を続けるうちに、わたしの心は少しずつ回復していった。2014年に、関西支部の総会で、ラテンアメリカ音楽に関する講演をさせていただいたことがあったが、あの時

に、同窓生の皆さんと交流させていただいた経験も、リハビリ中のわたしには大きな癒しとなった。

そして、2017年には、大学の生協学生委員会が実施した学生の投票で、「阪大でいっちゃんおもしろい教授」に選ばれた。

某テレビ局の番組で「となりの人間国宝さん」にも認定され、NHKラジオの番組「ラジオ深夜便」でも、トーク&弾き語りの機会をいただいた。



「となりの人間国宝さん」ワッペン

数年間続いた鬱からやっと脱出できた、そう感じられるようになっていた。ところが、それから間もなく、今度は身体上の欠損が原因で、現在まで続く二度目の鬱に陥ってしまったのである。

## ○ 視力の悩みと精神的苦悩を乗り越えて

実に今から 40 年以上も前、時習館高校に在籍していた頃から、わたしはずっと視力の問題に苦しめられていた。極度の近視と乱視を抱え、当時から、教科書や参考書を読むことは肉体的に苦しい作業だった。生来の「読書嫌い」に加えて、である。

「資質の欠如」と「肉体上の欠損」。職業上の必要性からすると、極めて不利なこの二つの要因が強力なタッグを組み、大学教員・研究者となったわたしの精神を、常に暗闇に引きずりこんできた。就職後に受けた手術も、医療過誤により失敗に終わった。こうして、身体的なハンディを抱えたまま、ごまかしごまかし、30 年もの間、何とか大学での業務をこなしてきたのだった。

だが、この「綱渡りのごまかし」も、三年前、ついに限界に達した。眼が使い物にならないほど

悪くなったのだ。そこで、意を決して二度目の手術を受けた。だが、前回の手術で脆弱になっていたわたしの角膜は、予想とは裏腹に凸状態が強化された。その結果、近くの文字を読むことが、手術前よりもさらに難しくなってしまったのだ。(この原稿も、文字を 20pt に拡大して書いている)

この手術の失敗による絶望感から、わたしは二度目の鬱に陥り、再び「死にたい、辞めたい」としか考えられない日々に戻りし。そして、回復の兆しもなく 1 年が経過したところで、「自殺 or 早期退職」よりはと、冒頭で書いたように、サバティカル期間を申請することにしたのである。

サバティカルが取れたとはいえ、ただ休んでいていいわけではなく、何らかの学術的成果を出さなければならない。だが、極度の肉体上・精神上の困難を抱えた状態で、通常の学術論文を書くこと、すなわち、特定のテーマに関連する先行研究を参照し、さまざまな理論を駆使しながら論じることなど、到底不可能だった。

唯一できそうに思えたのが、「自分史」の執筆だった。60 年にわたる、自分の試行錯誤の歩みを振り返り、失敗や挫折を含むさまざまな経験を、現時点の「弱い自分」の視点から振り返り、率直につづってみよう。もしかしたら、いま抱える「苦しみ」にも何らかの意味を見出し、ほんの少しでも癒されるかもしれない…。つまり、「大学教授」や「研究者」としてではなく、救いを求める一人の「鬱患者」として、この本を書いたのである。

視力上の困難と精神的苦悩を抱える中での執筆作業。それは、文字通り「地獄の苦しみ」だった。それでも、チリへの留学、国際協力分野での経験、「語り合い」授業、作曲の作業、など、これまで自分が体験してきたさまざまな事ごらを、時間をかけてしっかり振り返り、出来事、他者とのやりとり、その時々抱いた感情などを思い出しながら、率直に書き進めるうちに、少しずつ気持ちが楽になっていった。

## ○ 見出した「弱い自分」の価値

さらに、一回目の鬱、そして、まさに今自分が苦しんでいる二回目の鬱の経験についても、心理



## 会員だより



## コロナ禍のおうち時間



久本 あい (時習 44)

2020年2月末、生活が突然変わることになりました。新型コロナウイルスの感染防止の為、学校の休校が決まったのです。こんな経験は一度もありません。これから、娘たちの勉強や生活はどうなるのだろう。しかも学校が休校になるだけでなく、更にいろいろ大変になりそうな…。得体の知れない病気への不安やこれからの生活の心配などいろいろ思うところがありました。

いや、でも、個人的には、特に子持ちの親としては、これはチャンスととらえましょうか。神様からのプレゼント、このいただいた貴重な時間をどう使おうか。コロナに対する恐怖心はありつつも、ちょっとわくわくしてきました。今一番するべきことは何だろう。このことは後述するとして。

## ○ 自己紹介

まずは、少し自己紹介をさせていただきます。私は高校卒業後、東京の美大に進学して、そのまま東京の設計事務所で働いていました。毎日終電に向かってダッシュするような生活でした。

30歳で結婚を機に仕事を辞め、主人の職場のある兵庫県赤穂郡上郡町の山の上に住むことになりました。

(今思うところが最大の反省点で、どんな理由があろうと仕事は辞めてはいけません。すっかり職歴が途絶えてしまいました)

山の上の自宅から近所のスーパーまで20km。本当に見事な田舎です。山道のカーブを曲がると野生のシカやタヌキがいたりして、楽しい経験もしました。

長女の出産後すぐに主人の職場が堺になり、引っ越してきました。そして次女も生まれて、ずっと専業主婦をしています。子どもが少し大きくなってからも週の半分パートで働くくらいで、同窓の皆様のような自立した女性には程遠く、正直コンプレックスを持っています。

その分、子どもたちの事は、いつも全力で関わ

ってきました。そんなこんなで長女は現在中学2年生、次女は小学5年生です。

## ○ 子どもとの貴重な時間、今がチャンス

コロナで昨年2月29日から学校が休校になりました。先程も述べたようにチャンスですね。こんなまとまった時間は二度とないと思います。母親としては子どもたちを成長させる絶好の機会です。一人1チャレンジ、いや2チャレンジにしよう。ちょっと欲張ることにしました。だってずっとおうち時間ですから。



子どもたちの「飯づくり」

## ○ 長女とは

まず長女のチャレンジ一つ目は勉強全般の底上げです。塾のクラス分けで希望のクラスに入れなくてとても悔しかった長女。この機会に勉強を納得がいくまでやり切って、上のクラスに上がりたくてたまりません。各教科どんな勉強が必要で早急に購入が必要なものはあるか等、長女とミーティングしました。必要なものが分かったらテーブルと椅子のある書店で、細部まで見比べて、一番良いと思われるものを購入しました。あとはやるだけ、レッツゴーです。



長女は緊急事態宣言前にギターを購入

長女の二つ目は彼女から提案されました。「誕生日プレゼントにギターを買って」とのことです。

即OKでした。

長年習っていたバレエを辞めて、「自分はこれ得意」な事がなくなってしまったので、このおうち時間で是非楽器を楽しめるようになって欲しいと思いました。書店と楽器屋をはしごして、ギターを購入しました。練習の仕方や手入れの仕方を丁寧に教えてもらい、ギターを背負ってほくほくと帰りました。

### ○ 次女には

小5の次女は可哀そうなことに勉強漬けにしてみました。一つ目は「くもん」。なるべく早く目標達成して「くもん」を修了すべく、国語のプリントを毎日しっかりとこなすこと。彼女が学習している課程は長文の縮約です。興味のない難しい長文を読んで、要点をまとめ上げなくてはけません。宿題の丸付けは親がすることになっていたの、私も読み込みが必要です。ふたりで毎日

次女はマスコットを作って庭で撮影会  
これもおうち時間



みっちり取り組みました。二つ目は英語の勉強です。年相応に英検5級をとることを目標に、毎日主人と少しずつ勉強を進めました。「くもん」も英語もひたすら地道な毎日でしたが、毎日こつこつのお陰で自分でも手応えを感じたし、結果も付いてきました。それを経験できたのは、おうち時間のお陰です。

### ○ 子どもたちから私への課題

恐ろしいことに、子どもたちから私へ課題も出されました。新聞に載っていた塗り絵コンテストにチャレンジして、「金賞を取って賞金10万円をゲットするように」とのことです。ペットフードやシーチキンの「いなば」さんの一面塗り絵広告です。

子どもにあれこれチャレンジさせている手前、私もやるしかありません。新聞紙の塗り絵は予想以上に色が載らず苦戦しましたが、色鉛筆や絵の具やペンなどいろんな道具を駆使して、何とか塗り絵を仕上げ、滑り込みで応募しました。結果は

佳作。全国で40人の枠に何とか入り込むことが出来ました。賞金1万円とシーチキンを一ぱいいただいて、子どもたちも喜んでくれたし、辛うじて体裁を保つことができました。



私は塗り絵広告に挑戦

### ○ 充実した自粛生活をしています

その他には毎日朝食前に池の周りを子どもはランニング、私はウォーキングもしていました。



毎朝、池の周りをランニング

主人は嫌がってしまいましたが…。近所の新しい知り合いもできたし、規則正しい生活もできました。ランチタイムには全員で中田敦彦のYouTube 大学を見て、ほぼ全部制覇しました。笑いながら歴史の流れを聞けるので、ランチタイムは大人も子どもも楽しい時間でした。おまけに鬼滅の刃も全部見ることができました。

これがコロナ禍での我が家です。

そんな我が家の自粛生活。普段は皆がバラバラで慌ただしい生活をしているのですが、何とか工夫し、この時期、落ち着いて充実した生活を送ることができました。娘たちも結果がついてきたので、自信や納得に繋がった様子です。

とは言っても、皆様も新型コロナウイルスで仕事や家庭に、様々な悪影響があることと思います。早く社会が気持ちよく動いて、マスクなしでも笑って過ごせるようになってほしいですね。

会員だより



歌を忘れぬカナリアの with コロナ奮闘記

峯島 望美 (時習 44)



思いがけない世の中になりました。生活も一変し、皆さまきっとご苦勞の多い日々をお過ごしのことと思います。まさか、お出かけ時にマスクがいつでも標準装備になるとは…。

私は音楽を生業としていますが、リアルな活動は制限せざるを得ず、苦心しながら手探りでこのコロナ禍をどうにか乗り切ろうと、日々知恵を絞って暮らしております。幸い、文化庁による文化継続支援事業の認定をいただきましたので、これを有効活用し文化継続に貢献できればと思います。

○ オンラインコンサートを企画

この状況下にできること、となりますと、やはり活動のオンライン化ということが考えられます。この原稿を書いているのは2021年2月ですが、先日ちょうど初めてのオンラインコンサートの配信が終了いたしました。

オンラインコンサート配信の案内パンフレット



オンライン配信を伝える新聞記事 東愛知新聞(上)と東日新聞

ホールで無観客にて撮影した作品をオンラインで配信し、皆さまにご覧いただきました。初めての試みでしたので、どのように仕上がるのか、無事皆さまにご視聴いただけるのか、リアルなコンサートとは違った緊張感を伴い非常にドキドキしておりましたが、同窓会の竹内隆夫様、鈴木富美子様をはじめ、多くの方々にご参加いただき、またお楽しみいただけただけのご感想をお寄せいただき、心底ホッといたしました。

作っただけではまだ半分で、やはり皆さまにご覧いただきお喜びいただいて初めて文化継続は成立するのだと思いますので、この場をお借りしましてご視聴いただきました皆さまに心よりお礼申

上げます。



バラはまるで私を想う彼のようなだった

オンラインコンサートの一場面  
第1部「愛の歌」

### ○ 収録会場は豊橋「ほの国芸術劇場プラット」

私はとよはしっ子です！収録会場は豊橋！駅前のほの国芸術劇場プラットでした！リアルコンサートでは何度も歌わせていただき、スタッフさんもよく知っている小屋ですので、安心して収録に臨めましたが、撮影はリアルコンサートとは全く違う段取り、しかも無観客、ということで、慣れているはずの舞台でもなかなか過酷な作業でした。周りの方々のご協力なくしては実現し得なかったことと、ここでも感謝しかございません。



オンラインコンサート「シンデレラ」の一場面

制作演出スタッフには時習館の同級生、後輩にも参加していただきました。そして、これはこれからの企画になりますが、表舞台にも時習館の先輩にご協力いただけることになりました。

私は音楽家ですが、実はお芝居も大好きで、高校時代から時習館演劇部の大ファンでした。私の先輩後輩にも役者として現在もご活躍でいらっし

やる方がおられます。時習館の卒業生の皆さまは実に多彩で多才だなあと（笑）母校の懐の深さ、層の厚さに感嘆し、そのような素敵な学校に通わせていただけたこと、またこうして卒業してからも楽しい繋がりを持ち続けられることをとても幸せに思っております。

### ○ 2作目は能舞台での撮影も加わります

というわけで、オンラインコンサートプロジェクトはまだまだ続きます。目下2作目を編集中です。次回作は数年前の奈良での関西支部総会のアトラクションでもご覧いただいた作品を配信いたします。ウィーンのカフェを舞台にした恋物語です。

今回は、長年ニューヨークでご活躍されたトランペッターの方をゲストに迎え、またオンラインならではの演出でバージョンアップしたものを配信する予定です！お楽しみに！宣伝です（笑）

先ほどお伝えしました時習館の先輩の役者さんにご登場いただくのは、その次の作品で、その撮影を2月に予定しておりましたが、緊急事態宣言発令に伴い、残念ながら延期となりました。演目は歌芝居「かぐや姫」。オリジナル台本です。

撮影はやはりプラットで、そしてもう1つ、個人所有の能舞台で予定しております。小池にあります「汽水域」という名の、カフェと能舞台が併設された文化サロンです。ご存知でしょうか。ちなみにここの建築をされた方が実家のご近所かつ妹の同級生という、地元ならではの親近感！お恥ずかしながら、お話を伺うまで知らなかったのですが、能舞台の下には音響のために壺が設置されているのだそうです。ここもキッチンとそのように拘って建てられたとのこと。私が携わっているのは西洋音楽ですが、常日ごろより日本の芸術も素晴らしいと思っておりますし、私は日本人ですので何かうまいこと東西文化を融合させて面白いものができたらいいなあ〜できるんじゃないかな〜とワクワクしております。

実は私の父は趣味ですが面打ちをしております。「お父さん、最近メンウチを始めたんだよ」と初めて電話で聞いた時には、「え！そば？うどん？？」と本気で思いました！メン違いで能面の方のメン

ウチでした（笑）そして亡き叔父は友禅作家でしたので、その辺りのものも登場させられたら楽しいな、などと構想をいろいろと練っております。文化って、身近で気楽で自由なものであっていいんじゃないね！と思っておりますので、なんでもジャンジャンやっちゃう予定です。お楽しみに！あ、宣伝です（笑）

### ○ 学校の音楽授業にも制限があり

ここ数年、豊橋の小学校の学校鑑賞会をご依頼いただくようになりまして、昨年も複数の学校での公演を予定しておりました。当然ここでも感染拡大の影響は大きく、上演の際には感染予防対策を講じ、そしてそもそも今年度に延期になったものもあります。

今年は母校栄小学校が 70 周年を迎えます。その記念事業として鑑賞会を上演させていただくことになっておりますが、無事開催できることを祈るばかりです。

感染予防対策として、学校の音楽の授業では歌を歌えないという学校が多いと聞いています。これまで鑑賞会では一緒に歌って踊って、ということをやっておりましたが、それもできませんので、せめてダンスだけは一緒に踊っていただき、少しでも音楽を身近に感じ、喜びを感じていただけたらと思います。

### ○ 新たなオンラインコンサートへの取り組み

オンラインでの試みの話に戻りますが、コンサート配信の他に、皆様参加型のイベントにも挑戦しております。ひとつは「峯島望美と歌う会オンライン



オンラインでの「歌う会」  
WEB プリント写真

ライン」、もうひとつは「死セル詩人ノ会」。ひ

とつ目はタイトル通り、私と一緒に歌いましょう～♪という、気楽に楽しく皆さんにオンラインで歌っていただく会です。

後者は詩や歴史や成立背景などの解説とともに芸術歌曲をご鑑賞いただく、オンライン文化サロンです。

私の長年の友人であります、フランス歌曲の専門家のソプラノ駒井ゆり子さんとの共同企画です。時に真面目に、時にユーモアを交え、芸術歌曲をさまざまな角度から眺め愛でる会です。



オンライン文化サロン「死セル詩人ノ会」  
案内状

ラジオ番組のような、クラシックなのにオールナイトニッポンのような仕上がりになっているとの声も聞かれておりますが…（笑）

芸術歌曲の面白さをお伝えできたら！新しいクラシック音楽の楽しみ方をご提供できたら！と一同意気込んで配信しております。

とはいえ、健康第一！どうぞ皆さまお気をつけてお過ごしください。そして、自粛自粛で退屈したら、ぜひご安全に峯島望美のオンライン音楽イベントご参加などいかがでしょうか。

これからも歌を忘れぬカナリアの奮闘は続きます！



よろしければぜひお友達登録をお願いいたします♪

## 会員の近況報告



# 時習 10 大石由紀子さん ペスタロッチー教育賞を受賞



### ○ 第28回ペスタロッチー教育賞に大石由紀子さんが選ばれる

広島大学教育学研究科では、民衆教育の父と称えられるヨハン・ハインリヒ・ペスタロッチーの精神を引き継ぎ、平成4年にペスタロッチー教育賞を創設した。本賞は、今日極めて困難な我が国の教育状況の中で、優れた教育活動の実践をおこなっている個人あるいは団体を毎年顕彰している。2019年は当同窓生の大石由紀子さん（時習10）が選ばれた。

また、大石さんは、『時習館かんさい』31号で紹介しましたが、日本画家としても知られている。なお、昨年（2020年）念願の広島大学大学院を卒業した。

### ○ 講演会で「社会のために尽くしたい」と語る

2019年の12月5日、広島大学の東広島キャンパス同研究科 L205 講義室で、表彰式と記念講演が行われた。

表彰式には、学内外から約130人が出席し、実行委員長の越智光夫広島大学長ならびに小山正孝大学院教育学研究科長の挨拶・受賞者紹介、小田宏史もみじ銀行頭取からの祝辞の後、越智学長が表彰状、ペスタロッチー胸像および副賞が手渡された。また岡島鉄也中国新聞社代表取締役社長からは記念品として、賞牌が贈呈された。



大石さんの受賞を伝える新聞記事 朝日新聞より

### ○ 長年の性被害に苦しむ女性支援が評価される

大石さんは自宅で英語教室を開いていた1965年ごろ、フィリピン人児童の母親が売春で生計を立てていたのを知り、貧困から売春を余儀なくされる女性や子どもの支援を始めた。90年代には、東南アジアで女性自立支援プログラムの立ち上げや、貧しさから教育を受けられなかった人向けの学校建設も支援してきた。以後、半世紀以上、継続的に活動を続けてきた。

性被害者の支援を積極的に行うなか、いじめ・不登校・虐待・体罰などに悩む子どもやその家族を各関係機関の支援につなげる等の個人的活動も自費で行っている。こうした、長年の努力と功績が評価されてのことである。

2006年にはニューズウィークの「世界が尊敬する日本人100人」にも選ばれた。



広島大学越智学長よりの表彰状授与

記念講演では、「人助けの志があれば、どなたでもできる。奉仕の心を忘れず、まだまだがんばる」と語り、出席者らは熱心に聞き入っていたと報道されている。



記念講演会での大石由紀子さん

大石さんの活動に敬意を表するとともに、大変名誉なことであり、同窓会としても賛辞を贈りたい。  
編集委員会

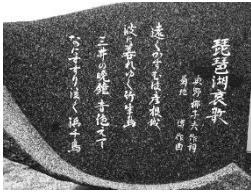


# 支部便り

## 企画行事の報告



行事報告



コロナを避けてちょっと間の楽しみ

～同窓会活動の休止の中～



河合 行朗 (時 20)

本稿 2 件はメールやグーグルグループ「時習－関西」を介して企画したものです。多くの方にご連絡したものの、この状況下で、行き届かなかったことが多々あり、この場をお借りし、お詫びいたします。なお、今後連絡方法を改善しながら、工夫を重ね、より良い行事計画を考えておりますので、よろしくお願いいたします。事務局

コロナ禍の中、総会を初めとして、ほとんどの同窓会活動は休止状態に陥りました。そんななか、十分に配慮しながら、少しでも楽しみの機会をと計画し、実現したものがあります。

その活動報告を紹介いたします。いずれも、小野英道さん(時 13)のご努力によるものです。

○ 2020. 2. 15 「琵琶湖雪見船クルーズ」と長浜散策

コロナが騒がしくなる少し前の時期でした。確か奈良で感染者が見つかり、大阪に一人発生。和歌山でのクラスター発生(2月13日医師の感染判明)前だったと記憶しています。

まだ、全国の感染者も「ちらほら」でしたが、少し重苦しい雰囲気醸成されかけていました。

そんな雰囲気を少しでも和らげるため、のんびり心のケアをとの話が出た折、「雪見船クルーズ」のパンフレットを見つけ、勝手に希望者を探しプチ旅行を企画し、挙行了したものです。



雪見船クルーズ案内パンフレット

最初は2月8日なら雪が観られるだろうと予想して仮申し込みをしました。しばらくしてから「その日は希望者が集まらないので欠航します」とつれない返事。仕方なしに15日(予備日)に変更し申し込むことにしました。

コースは「浜大津港から長浜港」までのクルーズと長浜での散策を考えました。

参加者は6人、浮き浮きした気持ちを抑えての出発でした。



浜大津港での出発風景

当日は暖かく雪は無く(8日は比良山系も吹雪いていたようである)代わりに一面の霧に覆われていました。霧に囲まれた琵琶湖湖面、水墨画のような山並みシルエット、どれもが風情があり、心のケアにはもってこいの趣でしたね。びわ湖一面が霧でおおわれる景色、皆さん想像してみてください。なかなかのものですよ。



霧の中の琵琶湖

船内では大型スクリーンでそれぞれの場所の解説が流れ、思わぬ発見も数多く、こんな身近なところに知られざる関西があるのだとの思いを強くしました。また、小野さんの補足解説も、さらに、充実した船旅になりました。



補足解説いただいた小野さん（時13）  
と船内からの琵琶湖（右上）

ただ、外国人の団体がいたのでコロナのことが少し気になりましたが、幸い参加者が少なく、十分な間隔をとれ、ほっとしたことを記憶しています。

クルーズ船を下り、長浜で食事、名物「焼鯖ソーマン」の旨さは超感動でした。その店主の話も面白かったのですが、ここでは省くことにし、先を急ぎます。長浜でのお目当ては、日本一の盆梅展、慶雲館に足を運びます。盆梅展の見事さ、言葉では言い尽くせず、写真を見ていただくに限るのですが、ちょっと、モノクロでは物足りないですね。

この一週間後、鈴木亜由子さんの壮行会・激励会があったのですが、これが、コロナ禍での大きな集まりとしては最後となりました。

今から考えると、よくぞこの時期に、クルーズ船でのプチ旅に出かけたものと感心しています。また、冷や汗の出る思いもしています。実は「ダイヤモンド・プリンセス号」のコロナ発生はその月（2月）の初めでしたね、その後の事態を考えると、なおさらです。

帰りはJRで、全員爆睡していたように思います。



盆梅展の作品および参加した筆者、片岡さん（時14）、小野さん（時13）のスナップ写真



陳列されている盆梅展の作品

### ○ 2020. 6. 30 「咲くやこの花館」での鑑賞会

同窓会会員の方から「非常事態宣言も解除され、少し、落ち着いて来たように思います。何とか癒しの時が欲しいですね」との要望があり、梅雨の季節には植物が元気になるので、厳しい辛さを忘れて楽しもうと考え、またまた企画し、有志をお誘いしました。



咲くやこの花館の入り口

水無月晦日を狙い実行したのは良いのですが、この花館までの雨は本物で、これは失敗かもしれないと思い、一瞬、引き返した方が良かったかも、滅入る気持ちに襲われました。

ところが、途中ですれ違った方から「今睡蓮が咲いていますよ」と声を掛けられ気を持ち直し、雨を避けながら館内に向かうことにしました。

この天候が幸いしてか、館内は静かでゆっくり回れ、多くの食虫植物は元気一杯のようでした。

しかも、屋根を打つ雨音が伴奏のようで、南国に来たような錯覚にとらわれていました。

自然に密を避け、美しい花と心行くまでの会話、

日常の緊張感が嘘のような不思議な世界に迷い込めた一日でした。コロナ禍でのちょっと一息、これもまた貴重な経験でした。

参加者4人という少ない人数でしたが、参加者の顔には満足感が漂っているように見えました。

また、そこで撮影した花の写真に妖艶さを感じます。「夜の女王」まさに言い得て妙なり。いかがでしょうか。



咲くやこの花館の花々、語り掛けているようです

### ○ コロナ禍でも生活に潤いを

このちょっとした隙間ライフ、コロナからの贈り物として、私の心にずっと残ることになるでしょう。まだまだ先が読めない状況が続きますが、これからも、安全に十分配慮し「楽しみ」の企画を考えたいと思います。ご期待ください。

# 事務局 から お知らせとお願い



## 時習館同窓会関西支部事務局よりのお知らせ

第54回時習館同窓会関西支部総会の延期により、2020年度は2019年度の規約、役員共継続し、活動を行ってきました。また、会計報告の承認も延期されています。そのため、本誌には、2019年度及び2020年度両会計報告を掲載しています。

2021年度については、今なおコロナの状況が改善されておらず、未確定要素も多いですが、工夫して、総会若しくはそれに代わる手段で必要な審議を行えればと考えていますので、皆様のご協力をお願いいたします。

### 時習館同窓会関西支部規約 規約の変更はありません

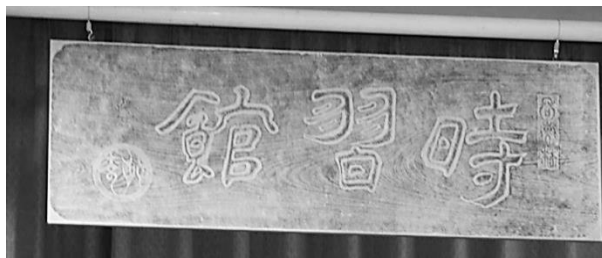
1. (名 称) 本会は時習館同窓会関西支部という。
2. (目 的) 本会は会員相互の親睦を計ることを目的とする。
3. (事 務 局) 〒541-0059 大阪市中央区博労町1-7-16  
山本通産株式会社内 (代表者 石川 吉之助) に置く。
4. (会 員) 本会の会員は時習館同窓会員で関西地方に在住する者とする。
5. (役 員) 本会に次の役員をおく。
 

支 部 長	1 名
副 支 部 長	若干名
理 事	若干名 (うち1名を会計とする)
監 事	若干名
6. (役員任期) 役員任期は2年とする。但し再任を妨げない。
7. (役員選任) 役員は総会において選出する。
8. (役員職務)
  - (1) 支部長は本会を代表し、会務を報告する。
  - (2) 副支部長は支部長を補佐し、支部長事故あるときは、その職務を代行する。
  - (3) 理事は支部長・副支部長とともに本会業務の運営にあたる。
  - (4) 監事は本会の会計監査にあたる。
9. (総 会) 総会は毎年1回開催する。但し、必要に応じて臨時総会を開催することができる。総会は支部長が招集する。総会に提出し、その承認を受けなければならない事項は次のとおりとする。
  - (1) 前年度の会務及び収支決算報告
  - (2) 新年度の収支予算
  - (3) 役員選任
  - (4) 規約の改廃
  - (5) その他の重要な事項
10. (理 事 会) 理事会は、支部長の招集により開催し、本会の運営および企画の審議にあたる。理事会は総会にかわって必要事項を議決することができる。但し、その内容を総会に報告しなければならない。
11. (議 決) 会議の議決は、出席会員の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは議長が決するところによる。
12. (経 費) 本会の経費は、会費、賛助金、寄付金およびその他の収入金をもってこれにあてる。
13. (会 計 年 度) 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。
14. (規約の変更) この規約は総会の議決によって変更することができる。

**運用における覚え書き(第53回総会において承認)**

- 賛助会員の名称を「シニア会員」とし、切替え時期及び取り扱いには賛助会員と同じとする。  
また、学生は「学生会員」とし、原則として、会費を免除する。その結果、会員構成は「シニア会員」「正会員」「学生会員」とし、いずれも、正式な会員とする。
- 事務局補佐体制の新設  
事務局体制の整備：事務局長補佐を若干名置くこととし、現時点において、理事河合行朗氏（時20）、理事鈴木優氏（時26）を事務局長補佐に任命する。

従来の「賛助会員」が「シニア会員」となり、正式な会員となりましたことを受け、従来「賛助会員」からの納入を「賛助金」としておりましたが、2019年度より「会費」として会計処理いたします。ただし、覚書にもあります通り、取扱いは従来と変わりませんので、会費の納入は任意とし、1,000円1口とします。そのため会計も「会費（シニア会員）」「会費（正会員）」と分けています。



**会員の動静**

《お亡くなりになられた方》ご冥福をお祈りいたします。

- ☆時4 四方 猛                  ☆時13 森下 宣彦                  ☆時14 川瀬 義隆                  ☆時19 内藤 壮一

2013年度または2018年度発行の時習館同窓会会員名簿に記載されている関西在住者の内、転居されたと思われる、その後の住所が不明な方のリストを記載いたします。

**住所不明者リスト**

豊中～時20	時21～時34	時35～時44	時45～時55	時56～
平野 謙二 (豊44)	原田 哲二 (時22)	小林 隆典 (時36)	太田有希子 (時46)	梅田 浩明 (時56)
佐藤 達也 (豊47)	青木三智子 (時22)	國松 真樹 (時36)	成岡 浩子 (時48)	木戸口慎吾 (時56)
井上 守也 (時4)	若原 俊子 (時24)	松田 学 (時37)	早戸 容子 (時49)	木下幸太郎 (時56)
山田 喜義 (時6)	新井 明子 (時26)	村松 忠信 (時37)	廣田 起子 (時49)	野澤はづき (時56)
補永 森茂 (時8)	佐久間貴彦 (時26)	深谷 愛 (時38)	能村 賀子 (時50)	中田 晃愛 (時56)
岩崎 佑二 (時10)	松井 茂記 (時26)	大沢 立弥 (時39)	松村 憲 (時50)	宮森 善隆 (時57)
小森 久枝 (時11)	井上 尚 (時27)	田中 恵 (時39)	内垣 予 (時51)	櫻井 研吾 (時58)
武田 久子 (時11)	松本 富夫 (時27)	竹中 規代 (時40)	野中 良祐 (時51)	横田 幸介 (時58)
金沢 範子 (時12)	宮野 一成 (時30)	中内 佳奈 (時40)	阿部 太一 (時52)	村松 亜紀 (時59)
大竹 宏明 (時15)	川村 達朗 (時31)	大隅 正彦 (時42)	太田 直道 (時52)	浅野実夏子 (時61)
馬場 一代 (時15)	小早川泰之 (時31)	梅原 大祐 (時42)	加藤 直諒 (時53)	佐藤 敬久 (時61)
諸星 郁子 (時15)	白川 和志 (時31)	太田 陽子 (時43)	住吉 稔 (時53)	菅河さゆみ (時61)
大羽 禎子 (時16)	竹内佐知江 (時33)	大林 靖明 (時43)	高瀬 貴宏 (時54)	植村 優惠 (時66)
暑地 正伸 (時17)	竹内 浩史 (時33)	角谷 考宣 (時43)	馬場慎太郎 (時54)	倉橋 李奈 (時66)
鈴木 圭三 (時17)	山本 英司 (時33)	斉藤 聖己 (時43)	山田 美慧 (時54)	園部 華子 (時66)
中村加代子 (時19)	小田 一郎 (時34)	田中 真人 (時43)	黒田 愛 (時55)	槇嶋理華子 (時66)
寺沢 礼康 (時20)	佐藤 雅章 (時34)	伊藤 資泰 (時44)	澄野 健人 (時55)	村松 直香 (時66)
		鈴木 博成 (時44)		
		福田 裕子 (時44)		

上記会員の方々の動静をご存じの方がおられましたら、事務局までご連絡下さい。

注：従来、住所変更された方の新しい住所を記載していましたが、プライバシー保護のこともあり、ここでの記載を差し控えます。

## 関西地区在住者(会員)の動静をお知らせ下さい

2018年に発行された時習館同窓会名簿をもとに、関西地区及び関西地区以西（希望者）在住者を会員登録しています。会員同士の親睦・交流をより一層深めていただくのが目的で、個人情報保護という点にも配慮しながら、分かる範囲で総会・懇親会及び各種行事のご連絡を差し上げています。

ご連絡するにあたり、住所が分からなくなった方（住所不明者）、あるいは、関西地区在住者でありながら名簿から抜けている方がおられるかと思えます。ご存じの方がおられるか、また、記載事項に間違いを発見されたら、ご面倒でも事務局（山本通産株式会社内 石川支部長）または山村編集委員長まで郵便、FAXまたはEメール（宛て先は『時習館かんさい』表紙右上参照）でご報告願います。

今回の名簿に限りませんが、あなた自身がいずれかへ入学、就職、転任、転居の際、または改姓・改名の時もお知らせくださるようご協力をお願いいたします。

その時は次の6点を明記してご通知ください。

①卒業年次 ②氏名(旧姓も) ③郵便番号 ④現住所 ⑤職業または勤務先(所在地・屋号・職務など) あるいは卒業または在学学校名(詳しく科別も記入) ⑥(公開してもよい)電話番号か携帯電話番号

この名簿は会員相互の親睦と理解を図る目的で編集しています。個人のプライバシー保護には支部としても充分注意しておりますが、会員の皆様も取り扱いにはくれぐれもご注意ください。同窓会関係以外の第三者に閲覧させたり、交付することは絶対にしないでください。

## 会計からのお知らせ

2020年度 年会費納入額 (2021年3月31日現在)  
シニア会員 231,000円 正会員 104,000円

『時習館かんさい』の発行及び会員の皆様への発送、他支部との交流は皆様方からの年会費でまかなわれています。今年度はシニア会員84名、正会員50名の方からの年会費の納入がありました。ありがとうございました。

### 年会費の納入をよろしく御願ひ致します

日頃は時習館同窓会関西支部の活動にご協力いただきありがとうございます。

当同窓会の活動は会員の皆様の年会費によって運営されております。時習館関西のホームページの維持管理、会報の作成、総会の計画と準備等の支部活動費に使わせて頂いております。会費は皆様と共に充実した活動を行っていくための大きな力となっております。年々郵送代の値上げ等もあり、活動費が厳しくなっています。

正会員2,000円、シニア会員は一口(1,000円)以上を、振込用紙で郵便局からお振り込み下さい。なにとぞご協力のほど、よろしく御願ひ致します。

会計 花井俊作



### 『時習館かんさい』へ投稿してみませんか

自分の書いた文章や写真が冊子になって同窓生の手許に届くと考えるとワクワクしてきませんか？最近感動したこと、学生時代を振り返ってみて思うこと、こんな活動をしています、こんなイベントに参加しました、最近こんなことを考えています、など、気楽に書いて『時習館かんさい』へ是非ご投稿下さい。「私の1枚！」のようにお気に入りの写真を紹介していただくような形式もOKです。

原稿、写真は1月末ごろまでに、「Eメール添付」「郵送」「FAX(写真は郵送かEメール添付で)」をお願いいたします。

投稿連絡先

〒665-0042 宝塚市逆瀬台1-11-4-1312

編集委員長 山村 信哉

TEL & FAX : 0797-74-4858

E-mail : nobu8yama@rose.sannet.ne.jp

(時習館同窓会関西支部役員一同)

編集余話



文字・言葉が伝える「歴史」の重み

～『時習館かんさい』を切らさず続けたい～



一時は発刊が危ぶまれた今年度の『時習館かんさい』第35号、テーマを「コロナ禍での生活」として原稿を募集し、総会報告のない異例の機関誌として発刊することになった。テーマから少し暗くなるのではと心配していたが、それは全くの杞憂。皆さんからの原稿には、この厳しい時を乗り越える力があふれていた。

○ 特別な年をチャンスに変える生活の知恵

投稿者からは「のんびりとあの赫灼とした時のことを思い起こし、若さを取り戻した」「傘寿を過ぎ改めて自分を振り返る。そんな余裕が生まれた」「山歩きの写真からイメージトレーニング」「ウォーキングに汗を流す絶好の機会」あるいは「子どもと接するために与えられた神様からの贈り物」や「我が著書『自分史』から、自らを問い直すことができた」等が寄せられている。

どんな逆境でも明日につなが希望を見出す。いや、その逆境すらチャンスにする力があることを改めて皆さんから教えられた。この経験は次の世代に引き継がれ、多くの人が「学ぶ」ことになるに違いない。

○ 歴史は真実が伝えられてこそ生きる

我々が知る歴史は圧政に苦しむ庶民、殺戮と戦争の時代、飢餓や伝染病で苦しむ社会や権謀術数に明け暮れる世などがクローズアップされる。人の愚かさの繰り返しばかりとの錯覚に襲われたりする。

それぞれの出来事をつぶさに見てみると、圧政から解放しようとする力が生まれ、新たな哲学のもとで次の世が来る。戦いの中から戦いのない世を希求する動きも大きくなる。飢餓から救う土木工事やウイルスに立ち向かう医術の進歩等、どれも人類発展につながり通点であり「学び」の成果である。

歴史の歯車は常に前に回っている。その流れが確実に伝えられてこそ、人は「学ぶ」能力を発揮でき、歴史を回す力になるのである。

○ 人類はまたコロナ禍から学ぶだろう

再び今に目を移そう。ある人は言う「チャイナウ

イルスのせいだ」と、また「大阪変異株が蔓延しよう」と。危機になれば、どうしても人のせいにする。グローバルな世の中がこの事態を招いたと。感染症は人とウイルスではなく、人と人を仲たがいがせがちである。でも、歴史は異なる。

14世紀の黒死病の時代と今を比べてみよう。世界中の人が情報を共有し、毒性や対応策を瞬時に交換できる今。黒死病の原因をついに発見できなかったあの時に対して、科学者たちはわずか2週間で新型コロナウイルスを見つけ、全世界に知らせた。ワクチンもこのグローバル力による。私たちはこの歴史からまた新たな「学び」の武器を手に入れるだろう。真の安全確保は、信頼のおける科学的情報の共有と、グローバルな団結によって達成されるものだという事。

私たちが、時を経て、これら歴史の真実を知るのには常に忠実に伝えられる書物からである。

○ 『時習館かんさい』も「歴史」を担う

『時習館かんさい』第35号を編集して改めて思った。歴史の証人である「文字・言葉」、その重さは偉大である。特別寄稿してくれた東京の前田充康さんは苦勞して書き上げた自分の原稿を読み直すうち、これまでの人生行路に嬉しいポジティブな総括が出来た、と編集部にもメールをくれた。会員の皆様も同じだと思う。

ネット上を膨大な情報が飛び交う時代だが、それらは、やがて消え去ってしまう。手間をかけ、時間をかけて文字に落としておけば40年後、50年後の後輩たちも読むことが出来、大変な時代を私たちがどうやって乗り越えようとしているかを知る。

それがこの時の真の「歴史」であり、後世の教科書なのである。

特別な時代だからこそ、ひととき輝く『時習館かんさい』の発行が、大げさに言えば真実を伝える「歴史」そのものといえる。そんな思いが原稿集めや各種折衝に忙殺された編集部の苦勞を吹き飛ばし、さらなる意欲につながっている。

編集委員会一同

